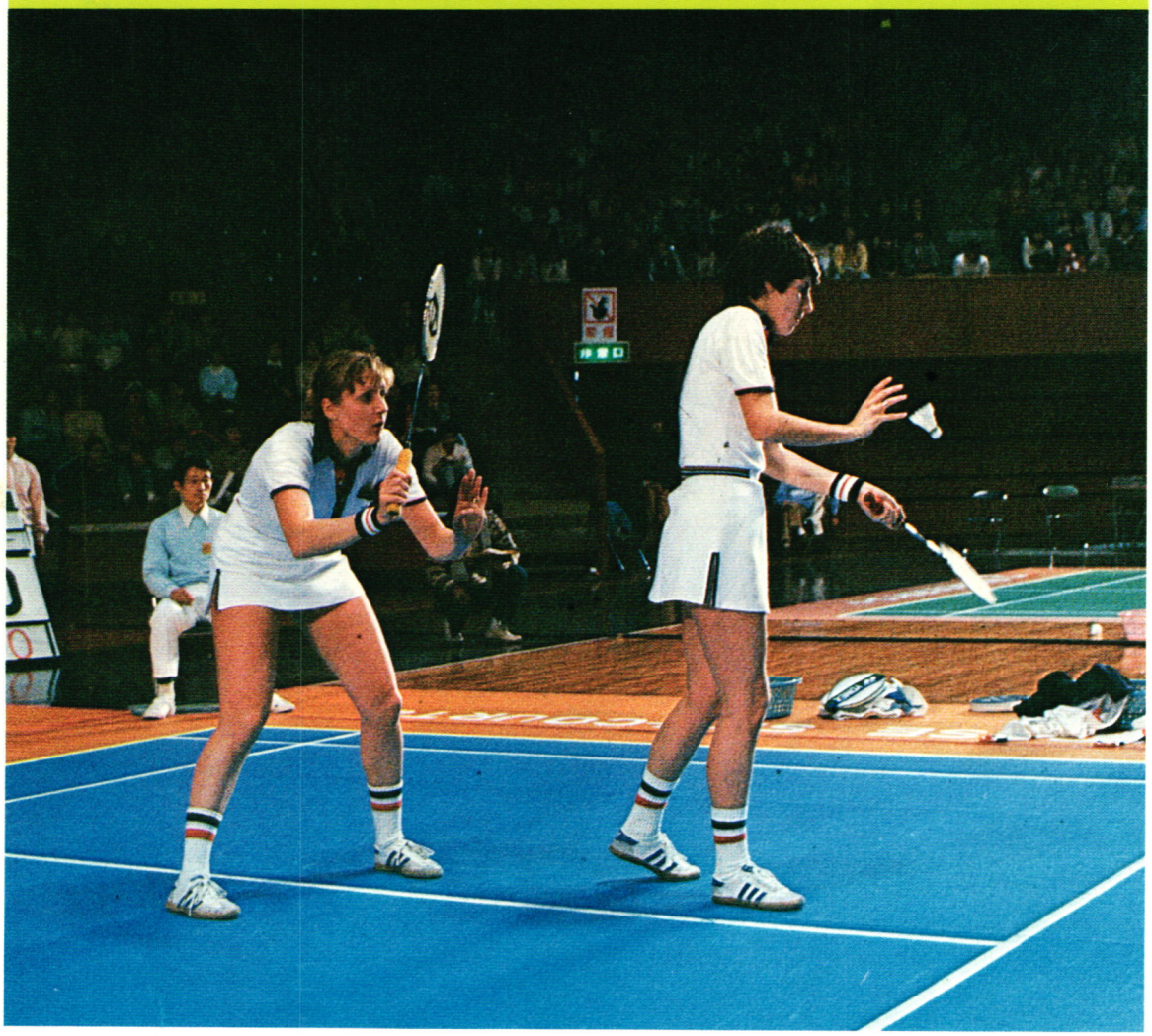
昭和56年5月15日発行（毎月1回15日発行・通巻第139号）　昭和55年10月9日第三種郵便物認可

バドミントン 5

The Badminton World No. 139　1981



carlton

That's the name of the game



完成度99%

Super

●1ダース¥6,000 ●1個¥500

日本バドミントン協会検定合格球

●IBF(国際バドミントン連盟)公認球

ナイロン・シャトルコック一筋に半世紀。世界のナイロン・シャトルコック市場で90%以上のシェアを持つカールトン社が，その伝統ある技術を駆使し，研究・開発に5年以上の歳月と数億円にのぼる開発費を投入して遂に完成された画期的な新製品，ニューフェザー・シャトルコック〝カールトン・スーパー〟の登場です。従来の水鳥球とほぼ同じ形体と性能を有し，しかも耐久性は3～5倍。世界的に水鳥球の供給が問題とされている今日，期待されるカールトンの自信作です。

Tournament

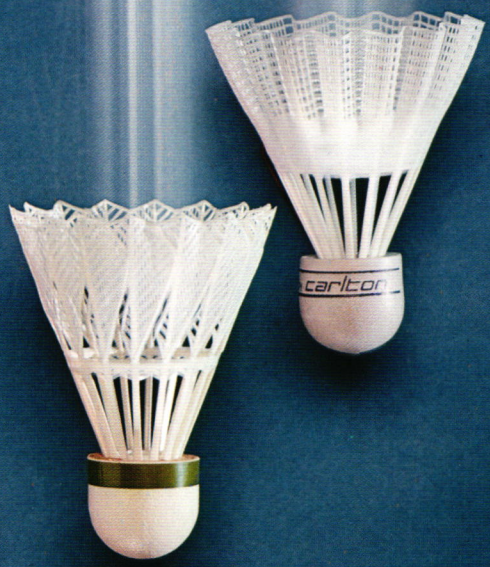
●1ダース¥3,800

●1個¥320

日本バドミントン協会検定合格球 IBF(国際バドミントン連盟)公認球

●56年度全国中学生大会使用球

世界一の消費量を誇るナイロン・シャトルのベストセラー。水鳥球の数倍の耐久性をもち，しかも，最も飛び方が似ていると評価されています。この絶大な定評は他の追従を許しません。



METRO 総輸入元 メトロレジャー株式会社

〒101 東京都千代田区外神田5-6-4 TEL.(03)833-3661(代)

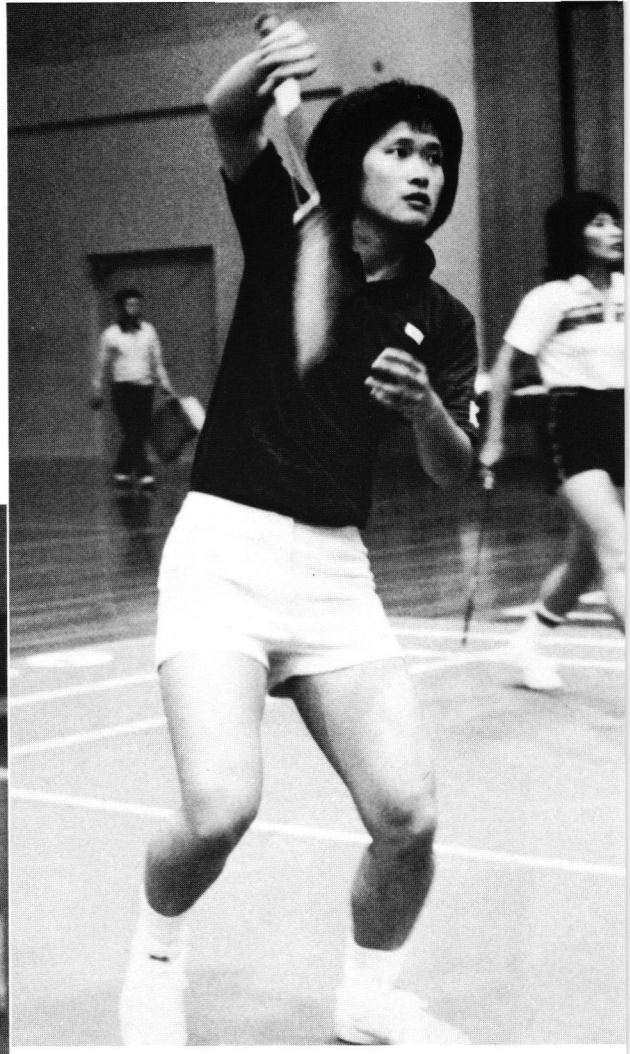
ユーバー杯の合宿から



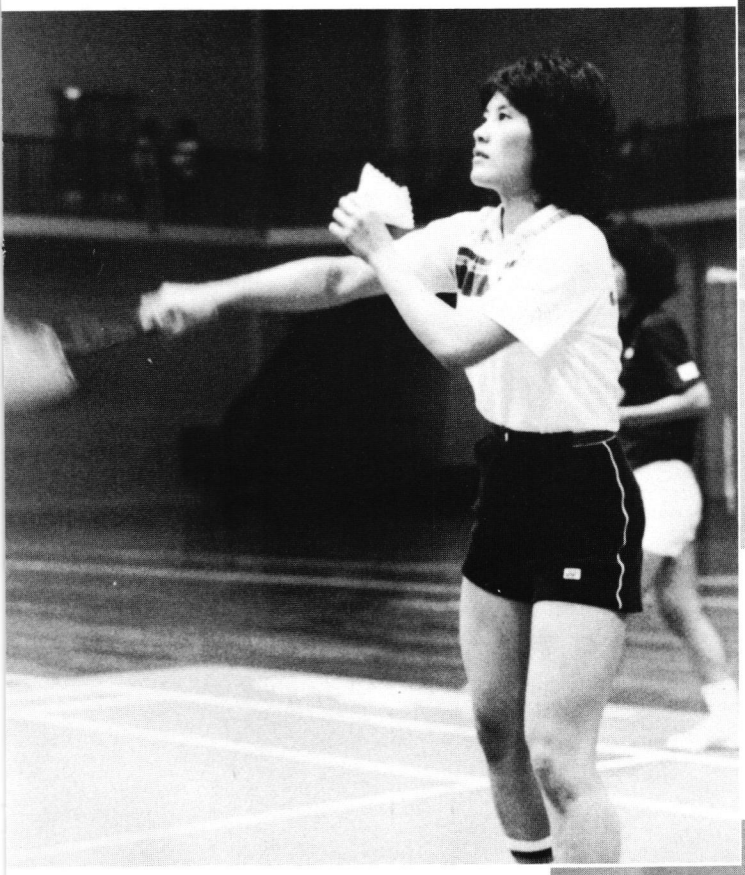
なんといってもランニングが基本



「気合いを入れて行くぞ」



大試合での強さを見せて欲しい近藤、
今年は好調なようだ





仲間を見る目にも余裕が感じられる

キャプテンとしての貫禄も出てきた徳田



カギを握る前衛の巧者・高田、マイペースで調整は進んでいる



「髪の手入ぐらいしなくっちゃー」



ダブルスでユニークな味を持つ大塚

勝利へひた走る鮮烈のプロショップ

ラケットショップ元町®

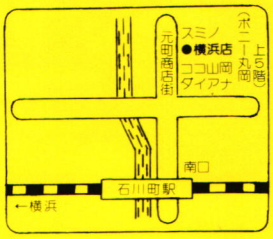
ご要望があればどこへでも、
最高のスタッフが……!!

とんで! まわって! コーチして!!

無料巡回コーチング・サービス



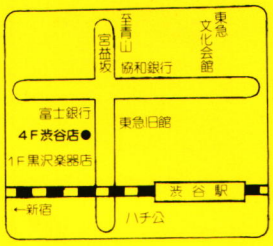
®



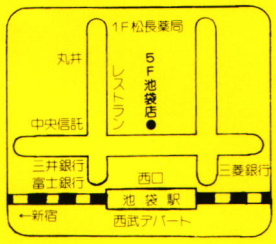
●横浜店
☎5F テニス・フロア
045-651-2820
4F バドミントン・フロア
045-662-9857



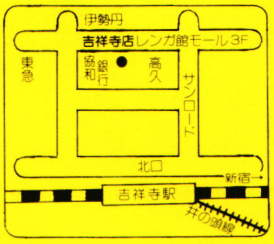
●藤沢店
☎0466-26-2552
テニス・バドミントン



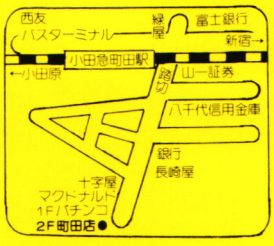
●渋谷店
☎03-3400-7390
バドミントン・プロショップ



●池袋店
☎03-988-0215
バドミントン・プロショップ



●吉祥寺店
☎0422-22-7890
バドミントン・プロショップ



●町田店
☎042-728-6050
バドミントン・プロショップ

バドミントン界 5

❶ グラフ ユーバー杯の合宿から	⓲ 日本製シャトルが世界公認
❻ 抱負を語る ユーバー杯監督・小飼栄一	㉛ ガッツ&フェアープレー賞 宮本幸弘、田村圭香
❼ 抱負を語る ユーバー杯コーチ・池田信孝	㉜ 飯野佳孝 テクニックを盗め
❽ 日本チーム選手紹介 徳田敦子	㉞ 銭谷欽治 チャンピオンをめざせ
❿ 日本チーム選手紹介 高田幹子	㊱ 中大、日体大が優勝 関東大学春季リーグ戦
⓬ 日本チーム選手紹介 米倉よし子	㊳ ヨーロッパ・トーナメント・ツアー 全記録
⓮ 日本チーム選手紹介 北田スミ子	⓳ グラフ 関東大学春季リーグ戦
⓰ 日本チーム選手紹介 陣内貴美子	

◇表紙デザイン・構成，本文カット＝野間デザイン室，長谷部憲和

◇今月の表紙＝第71回全英オープンで優勝したペリー・ウェブスター組（イギリス）

仕上がりは順調。負ける不安材料はまったくない

ユーバー杯日本チーム監督　小飼　栄一



全員、仕上がりは順調に行っている。現在の総合力からいけば、負ける不安材料はない。

若手が一段と強化してきている諸外国を甘く見るわけではないが、敵をインドネシア一本に絞って練習している。

イギリスも、ダブルスに強味を持っているが、ベラワティ、イバナの二枚看板を持つインドネシアが有利だと思う。

試合形式が、3単4複から5単4複に変ったので、おのずからシングルスに重点を置いているが、米倉が安定した力を取り戻し頼もしくなったし、近藤も調子を上げているので、この二人にシングルスを任せることになりそう。

徳田・米倉組は問題ないとして、近藤・高田組は好不調の波が激しい面はあるがやはり国際経験が豊富なことは競り合いになって生きてくると思う。

今は、大塚・東海林組が成長して第2、第3ダブルスの差がなくなって、チーム力ということではいい形になってきている。

シングルス要員としての北田、東海林は、国内的にはそれなりの力を発揮する期待は持てるが、国際試合となるとキャリア不足が大きく、ひとつの壁を迎えているようだ。

今回は、日本で開催されるからといって〝楽〟というわけにはいかない。

世界の情勢は、男子にも共通していえることだが、急速にレベルアップしているから。

しかし、今回は第2期黄金時代を迎えるために、絶対に落としてはならない大会、もし負けるようなことがあれば、次回は予選通過さえ難かしくなってくるのではないかと思われる。

この2、3年、また再燃してきたバドミントン熱を盛り上げるためにも〝防衛〟することの意義は大きい。

幸い、ベテランを中心とした選手は充実しているし、北田、陣内らの若手がこれを刺激してチームとしてはいいムードになっている。

とくに、北田、陣内は次回のユーバー杯の主力を形成するプレーヤーになるだろうから、今から楽しみにしている。同年代の若者と比べてもしっかりしているし、明かるくて素直な性格で、真剣にアドバイスを聞いている。

次回のユ杯のチーム作りという意味からも、若手には簡単なアドバイスを与え、あとはプレーの中から体得させよう、人に頼らず、自分自身で学び摂るように指導している。

これからは、本番も近いので時間帯を試合時間に合わせ、ナショナルチームの男子を相手に最後の調整をして、万全の体勢で大会に臨むつもりだ。

精神的に白紙に戻って、純白のユニフォームで!!

ユーバー杯日本チームコーチ　池田信孝

国内でやるので、次第に緊張感が高まってきた。

あまりプレッシャーを感じないように、今はリラックスさせるのが第一の目的。そして苦しさに負けてコントロールに集中力がなくならないように持って行きたい。

5月3日までサントリーで合宿を行ない、全員いったん実家へ帰したので疲れはとれたようだ。

米倉は、最近やっと精神的な面で一人前になって頼れるようになってきた。

近藤も、私の目から見て良い意味で変ってきている。

現在のプレーヤーは、サラリーマン化しているというのか、自主性に欠ける面があるので、それを自覚させるのが先決。

ひと昔前の選手は、一線級が一堂に集まってする合同練習などの機会が少なく、各々地元で練習するしかなかったから、ライバルの影におびえながら不安な気持を一掃する意味からも、一生懸命にがん張るしかなかった。

けれど、今は一緒に練習することも多いし、ライバルの様子を常に見ることができる。

結果的にはこれが、安心感を生み自覚のない〝ただ、やらされているから〟やるだけのプレーヤーとなっている。

つまり、あまりに境遇がよすぎることに馴れ切っているため、ちょっとした環境の変化に意外にもろくなって、どんな条件の下でも百パーセントの力を出せる選手が少ない。

このように、本当に強い選手はサラリーマン的な気持ではなく、自主性から生まれてくるものだということを理解させ、今回の選手にも将来を担う若手にも、このことを基本線として指導しているつもりだ。

ある意味では、プレーより精神的〝しつけ〟が大事だと思う。

若手にはとくに、このことを徹底させ、自分の目で吸収させるのが一番。

幸い、陣内をはじめ次代の救世主になりうる素質と性格を持った若いプレーヤーが揃って、主力選手達を下から盛り上げているので心強い。

中堅の大塚、東海林も、全英から帰って成長したし、チームワークは万全といえる。

徳田、米倉は、完全に全英シ



ョックから立ち直り雪辱を期しているし、兎に角、やるからには9―0で勝つつもりでやる。

エースがいないのは苦しいが同じ人間がやるのだから、無心に帰って全力をつくす。

そんな意味から、ユニフォームも純白にした。

今までのすべてを出して、良いプレーをすれば、おのずからいい結果が転がり込んでくると信じている。

挑戦者の気持でぶつかる



徳田　敦子

●**徳田　敦子（とくだあつこ）**
●**生年月日**　S30・9・15
●**出身**　大阪府
●**身長**　百六十二センチ
●**体重**　55kg
●**趣味**　読書（司馬遼太郎、永井路子）
●**抱負**　キャプテンなので、責任ある指導をしてチームをまとめなければならないと思っています。

プレッシャーがかからないといったら嘘になりますが、前回のユ杯の主力メンバーが残っているので、何としてでも……。

前回は、挑戦者として勢いがあった。今回も王座を守るという気持ではなく、挑戦者の気持でぶつかりたい。

全英での不振を、今くよくよ考えても仕方ないし、立ち直る時間が十分にあったので、それを良い方向へ向けてがん張るしかないと思う。

いまは、ただユ杯一本しか考えられない。全力投球することしか頭にありません。

●**記者の目**　現在、足首の軽いネンザでシングルスの練習はしていないらしいが、たいしたことはなさそうなのでひと安心。ユ杯を守るためには、ダブルスを全勝してもらわなければならないだけに万全の体調で臨んで欲しい。

キャプテンとしても、ベテランぶりを発揮して、頼れる存在になってきたようだ。

シングルスの安定した実力は、第3シングルスとして欠かせない戦力となるはず、一にも二にも体調の回復がカギ。

とにかく〝勝つ〟のみ!!



近藤　小織

●**近藤　小織(こんどうさおり)**
●**生年月日**　S31・3・18
●**出身**　岡山
●**身長**　百六十五センチ
●**体重**　61kg
●**趣味**　カラオケで歌うこと
●**抱負**　兎に角、勝つことのみです。

全英での成績は良くありませんでしたが、敗因は自分自身が一番解っているつもり。ユ杯の糧にすればいいと思う。

体調は、体が締ってきてベストです。

体重は変らないのに、人からやせたといわれるし、ウエアも少し緩くなってきました。

私のバドミントン生命の燃焼のつもりで、やるだけです。

●**記者の目**　年が明けてからの近藤の動きの良さは、日本チームにとって心強い限り。

本人もいっているが、ジャンプする機会が増えたのは、脚力がつき動きが軽くなった証拠だろう。

好不調の波が激しいことが唯一の欠点だが、一日一試合なら集中力も生まれるはず〝外人に強い〟ところも定評ある。

不得手だったダブルスも、海外での経験が豊富なのだから、競り合いになればモノをいうだろう、気力で克服してくれることに期待したい。

すっかり目が窪んだせいか、眼光が鋭くなったような気がするのは、大試合が近づいてくる緊張感からか、「勝つことのみ」の気迫がうかがえる。

コンビを崩さないように



高田　幹子

●高田　幹子（たかだみきこ）
●生年月日　S30・10・14
●出身　大阪
●身長　百五十六センチ
●体重　55kg
●趣味　無趣味（しいて挙げれば散歩すること）
●抱負　自分達のダブルスを落さないようにしたい。
それには、コンビネーションを良くすることだと思う。ときどきコンビが崩れることがあるので、気をつけたい。
合宿は、走ることが不得意でトレーニングの頃はしんどかったけれど、いまはマイペース。
ユ杯は、試合を待っている時間が辛く、息苦しくなるからそれに負けないようにしなければと思っています。

●記者の目　ダブルスプレーヤーとしては定評のあるところだ。
今回も、パートナーの近藤を生かすも殺すも高田次第という気がする。ややもすると最近は消極的になり過ぎているようだが、果たして大試合で持ち前の前衛での動きが出るかどうか。
普段は物静かな性格で、近藤の〝動〟に対し〝静〟の役割りを演じているが、コート上ではこれが好回転する場合とそうでない場合が見られる。
これを常に良い状態に保つには、高田のリード、精神的に近藤と五分の〝強気〟が望まれるところだ。
そのことは本人が百も承知していること、きっとやってくれるに違いない。

徐々に良くなってきた



大塚ソノエ

●**大塚ソノエ（おおつかそのえ）**
●**生年月日**　S32・1・24
●**出身**　新潟
●**身長**　百五十七センチ
●**体重**　53kg
●**趣味**　読書（推理小説）
●**抱負**　ここまできたらがん張るしかないと思う。ドキドキしますけど……。

全員の調子が最高の状態で試合に臨みたい。

私自身としては、もう少し時間が欲しかった。

東海林さんとのコンビのことは、すべて私に任されたので、始めは重荷を背負ったみたいで悩みましたが、全英から帰ってからお互いの動きが分ってきたし、アドバイスを素直に受け入れてくれたので、大変助かっています。

●**記者の目**　確かに目つきが変ってきたようだ。

東海林とのコンビのリーダーシップをとることで、責任感が芽生えたのか、大人の目つきになってきた。

このコンビの成長により、近藤・高田組にもし万一のことがあっても、立派に穴埋めしてくれる控えができたことは、監督、コーチだけでなく選手に与える影響も大である。

ダブルスプレーヤーとして特異な存在であるし、年齢的にも主力選手と若手プレーヤーの仲介役として貴重。

大塚自身も、プレーに対してもっとどん欲になってスピードアップを図れば、まだまだ上昇は見込めるはずだ。

地元だから〝勝ちたい〟



米倉よし子

●**米倉よし子（よねくらよしこ）**
●**生年月日**　S33・2・7
●**出身**　富山県
●**身長**　百六十二センチ
●**体重**　57kg
●**趣味**　眠ること。ショッピング
●**抱負**　体力的にも精神的にもとてもきついです。プレッシャーを感じています。でも中心になってやらなければという自覚はあります。
日本でやるのがかえって恐い気はしますが、迷惑はかけられません。
これからは、アップしてからすぐに試合に入るコンディション作りと、集中力を持続させることです。
コーチとキャプテンがいるので、私は自分のことに専念できて、それだけにコートで穴埋めしなければと思っています。
●**記者の目**　腹筋でも腕立て伏でも、他人より3・4回は数多くこなしているのに気づいた。
これが「一番安心して見ていられる」と監督・コーチがいう、精神的な支えになっているのだろう。
口でいうのは簡単だが、苦しいときに、人より1回でも2回でもトレーニングを多くこなすことは大変なことだ。
大試合でプレッシャーをはねのけ、ピンチを脱することができるのは、最後はこの意欲ではないだろうか。
いいものを見た。
これなら〝王座〟は守れる。

素晴らしい貴重な体験



東海林文子

東海林文子（とうかいりんふみこ）
●生年月日 S33・4・11
●出身 山形県
●身長 百六十七センチ
●体重 63kg
●趣味 ショッピング　レコード鑑賞（寺尾聡）
●抱負 もちろん出場できればベストを尽くしたいですが、出る人のバックアップするつもりです。強い人達と練習するだけですごくプラスになります。全英オープンから帰って、少しダブルスの動きが分るようになってきましたが、行く前に十分コンビが組めなかったので少し悔いが残りました。
●記者の目 無名の高校時代から、一躍トッププレーヤーにのし上がった陰には、人にいえぬ努力をしたことは容易に想像できる。

それほど〝無器用〟である。しかし、それを補って余りある脚力とパワーを、地道に身につけてきた。いや、コートで発揮できるようになってきた、と表現した方が正しいか。

〝無器用〟さは東海林の財産でもある。

無器用であるがゆえに、より一層の反復練習を繰り返し、モノにしてゆくからだ。

ユ杯の合宿でも、地味な存在には違いないが、主力を脅かす底力は全員が認めるところ。

この経験が、またとない飛躍へのステップとなることだろう

プレッシャーに戸惑うが



北田スミ子

●**北田スミ子（きただすみこ）**
●**生年月日**　S37・3・31
●**出身**　大阪府
●**身長**　百六十五センチ
●**体重**　60kg
●**趣味**　レコード鑑賞（さだまさし）
●**抱負**　出場できれば勝たなければいけないと思っています。
でも今は、戸惑うことが多くて、あまり調子は良くありません。
全英オープンでは、やはりプレッシャーがあったのかな……。伸び伸びとできなかったし、集中力とあ緊張感がなかった。
それを反省して、もう少し開き直って負けてもともとという気持、追う立場でやらなければいけないと思います。
●**記者の目**　全英オープンでの不振が、今も尾を引いているようだ。日本のチャンピオンとして、勝たなければいけないという気持が、プレーを委縮させ、重荷となって若さを押しつぶしてしまったのか、精神的に早く復調して欲しい。
ユ杯では、日本チャンピオンでありながら、出場できないという事態も考えられるが、真のチャンピオンになるためのひとつの道程と考えたい。
気のせいか、あの天衣無縫な明かるさが陰をひそめてしまったような気がするのが気懸りだが、それは時間の問題かも知れない。
現在のスランプを脱出したとき、真のチャンピオンとなって、ひと回り大きな北田を見ることができるだろう。

小さいから努力をして



高峰　和子

●**高峯　和子（たかみねかずこ）**
●**生年月日**　S37・9・26
●**出身**　熊本県
●**身長**　百五十八センチ
●**体重**　54kg
●**趣味**　ピアノを弾くこと（中学まで習っていた）
●**抱負**　試合には出られないと思いますが、これからに役立てるチャンスなので、人から盗んで大きくなりたい。

練習では緊張しっ放しで、雑用も大変ですが、先輩の話を聞くことができて楽しいです。

ヨーロッパでは夢中で、何をしているのか分らなかったけど、次第に慣れるにつれ落ちついてできるようになった。

私は小さいので、いろいろな面で不利ですが、人より速く動くとか努力して、大きい人には負けたくないと思っています。

●**記者の目**　さすがに現在はパワー不足で、ナショナルチームに入るとスケールの点で見劣るのは如何ともし難い。

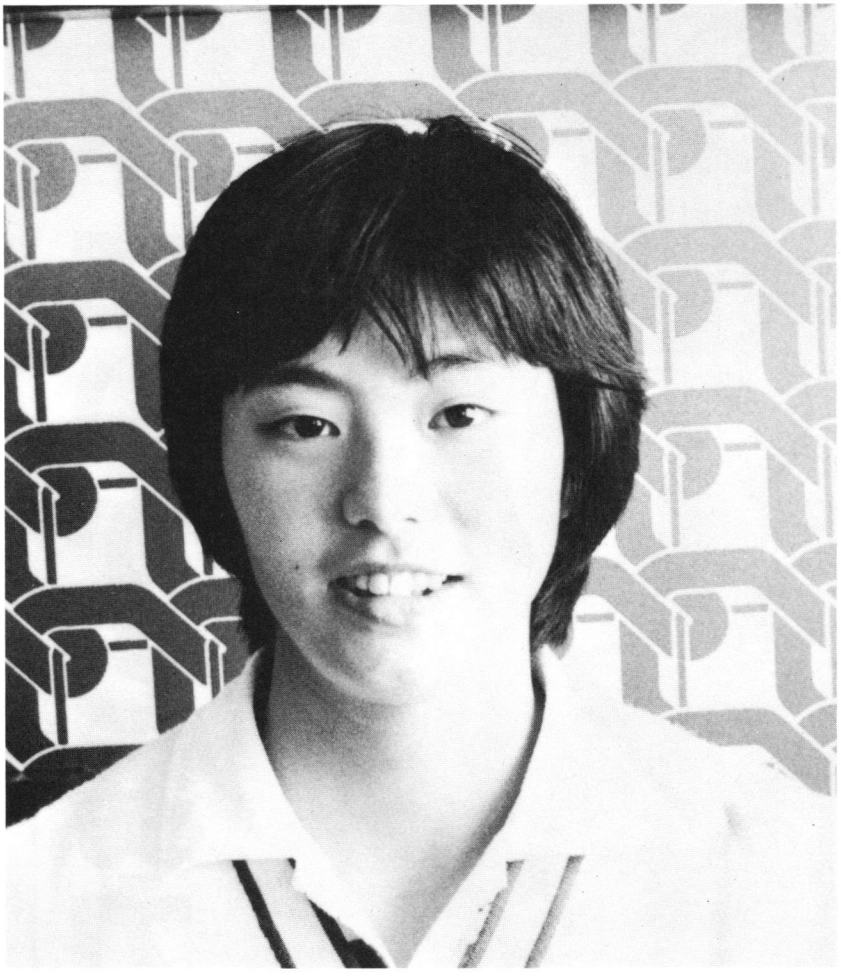
しかし、かつての日本の代表的プレーヤーには小さい人が多かった。

素質そのものより、練習量と考えることによって、その不利を克服したからだ。

小さい者は、不利であるが故に自分を知ることができる。

「敵を知り、乙を知れば百戦百勝」という言葉もあるが、案外己を知らないプレーヤーは多いものだ。小さいことが、己を知る引き金になれば、あながち不利とはいい切れないと思う。

すべてのことがいい勉強



陣内貴美子

●**陣内貴美子(じんないきみこ)**
●**生年月日**　S39・3・12
●**出身**　熊本県
●**身長**　百六十五センチ
●**体重**　54kg
●**趣味**　歌が好き（とくに山口百恵）
●**抱負**　一番年下だし、試合には出られないと思うので、先輩の援助をしてあげたいと思います。気を遣わさないで、プレーに専念してもらいたいと思います。

今は、皆んなが協調し合っていいムードだと思います。

私としては、見るもの聞くモノがすべて勉強のつもりです。ぜひ良い面を採り入れたいと思います。

ヨーロッパに行けたことは、コーペンの貫禄あるプレーを見ることができたし、黄さんと友達になれたし、とても良ったと思っています。

黄さんって、見た感じよりすごく女らしいんですよ。

●**記者の目**　練習では「プレーは相手にされない」と謙遜するが、なかなかどうして、ときおり鋭いショットを放って周囲をアッといわせている。

先天的なセンスもさることながら、ユ杯の合宿にあっては持ち前の明かるさが貴重な存在になっている。

この素直で明かるい性格が、今後の成長を暗示しているようでもある。北田とともに、日本の将来を背負って立つ大物であることに間違いはない。



RACKET BADMINTON STRINGS

世界のトーアが贈る
バドミントンガットシリーズ



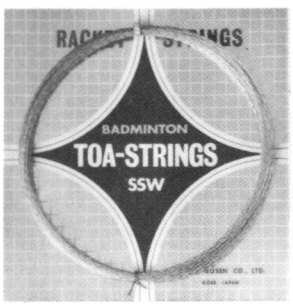
レオイナ　ホーン
LEOINA HORN S



グラファイト　レオイナ
GRAPHITE LEOINA 66



レオイナ　シープ
LEOINA SHEEP 66



トーア　ストリングス
TOA-STRINGS SSW



トーア　ストリングス
TOA-STRINGS SSW

東亜ストリング株式会社

〒651　神戸市中央区八雲通３－１－24

☎078(232)1991㈹

日本製シャトルが世界公認、ユ杯にも使用

ヨネックスのトーナメント

ユーバー杯大会の使用シャトルが日本製シャトルコック〝ヨネックス・トーナメント〟と決定した。

これは、5月1日、東京湯島のヨネックス本社ビルで記者発表されたところによると、IBFが第9回ユーバー杯大会に使用するシャトルコックの公認を決定するため、同連盟国際大会委員会が公認申請社、RSL(イギリス)、ガルーダ、ガジァマダ(いずれもインドネシア)、ヨネックスの4社4種の選定を行ない、委員会の審査選定をもとに、3月22日、IBF理事会を開催しヨネックスを公認することを採決したため。

世界主要大会の使用シャトルコックが、日本製になったのはもちろん初めて、今までは30年間にわたってRSL球が他につけ入る隙を与えず、独占的に公認使用され続けてきた。



記者発表するヨネックス・米山 社長と今北国際委員長

この頑固なまでの強く長い伝統を、日本製シャトルコックが破ったということは、世界40ヵ国のバドミントン界にとって大きな衝撃的な出来事であり、新しいバドミントン界の幕明けを意味すると同時に、わが国の誇る技術が、世界のバドミントン界で高く評価されたことの証明でもある。

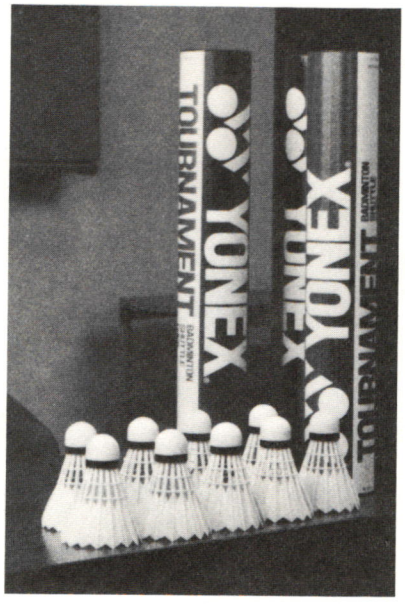
席上、資源不足のおり合成球の開発について質問されると、今北国際委員長が「IBFでも、テスト委員会が結成され、飛行特性、耐久性、価格などの検当が急がれている」と答え、ヨネックス米山社長も「わが社も、近い将来を考え研究は怠っていない」ことを明らかにした。

それにしても、RSLを押しのけて国産シャトルが世界を駆け巡るようになるとは、なんとも夢のような話ではないか。

〈ヨネックス・トーナメント〉

ヨネックス水鳥球8品目の中の最高級品。昭和40年発売以来、日本バドミントン協会検定合格球として使用され続け、日本バドミントン協会主催・主管の国際大会・公認大会はもとより、わが国のほとんどの公式大会に使用されている、わが国最高の水鳥シャトルコックのひとつとして有名。

なお、ユーバー杯大会用として6種三百ダースのシャトルコックが用意されている)



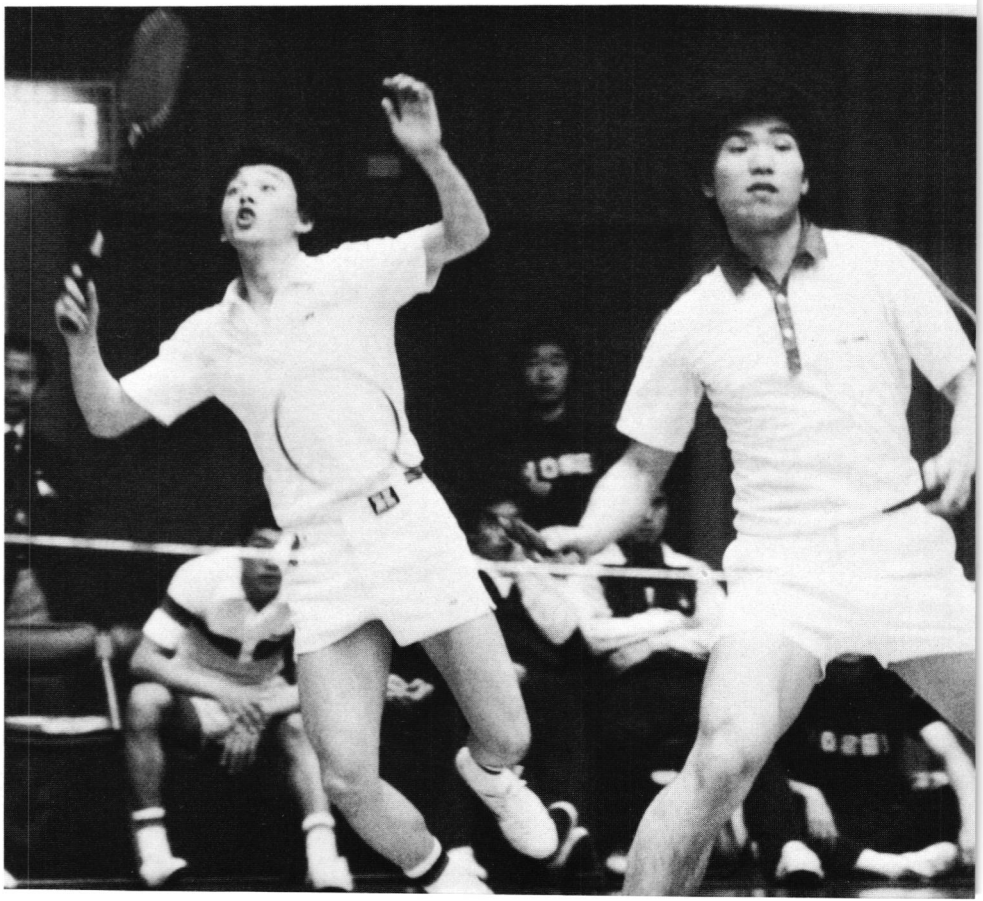
ヨネックス・トーナメント

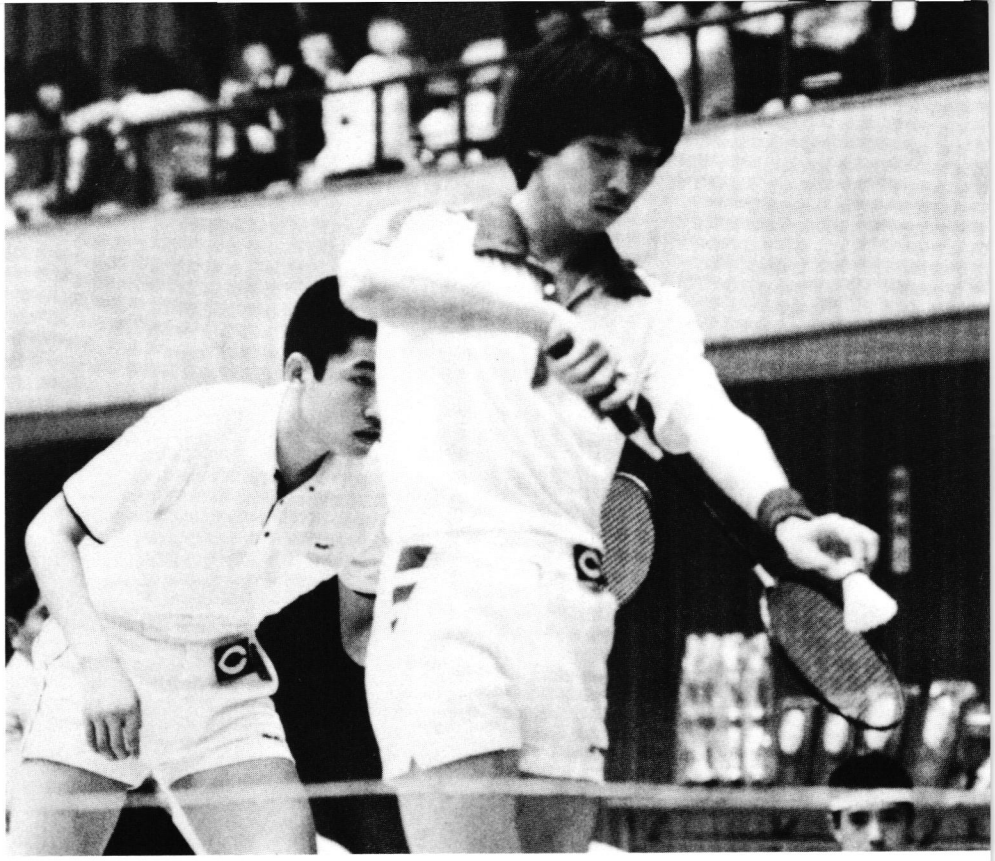
関東大学春季リーグ戦



地味なプレーであったが全勝を果たし優勝の
大きな原動力になった宮本・吉村組（中大）

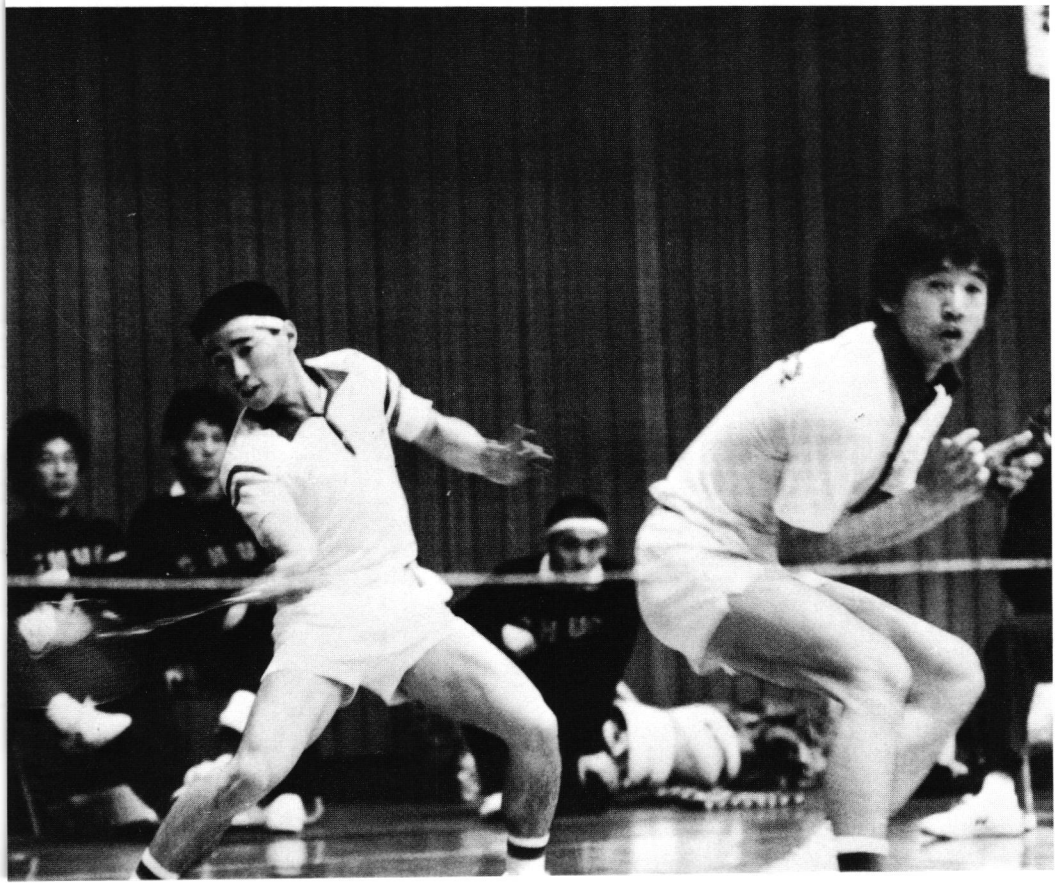
大型ダブルスの素質十分の久郷・本石組（法
大）、体調が整えば秋は大いに期待される。





ちょっと精彩のなかった西山だがスピンサービスをする意欲も……パートナーは小西

中大戦の大切なゲームで逆転負けを喫してしまった坂井・権藤組（日体大）





上位校との対戦では激しい闘志
を見せた堀井・岩渕組（早大）

上位校の胸を借りてがん張った大東文
化大、角谷・佐藤組は１勝をあげた



30 YEARS
ラケットスポーツとともに30年

創立30周年記念 4/1から8/31まで

ワイド・スケールで当たる

ビッグ・プレゼントが

ゴーセン Grand 30 キャンペーン



スポーツなリズムで満たせ。

ヘッドフォン型ラジオAM・FM

毎月300名さま

毎月3,000名さま

スポーツバッグ

オリジナル

ビッグプレゼント



ゴーセンは今、抽せんで毎月3,300名さまにステキなプレゼントが当たるビッグなキャンペーンを実施中です。ゴーセン商品についている 30 YEARS シール1枚をキャンペーン参加店 30 YEARS 店頭の応募ハガキまたは官製ハガキに貼付し、郵便番号、住所、氏名、性別、年令、職業(学校名)、所属クラブ名、お買い上げ店名、住所を明記してご応募ください。お一人さま何口でも結構です。

〈抽選方法〉毎月末に抽選を行います。当選された皆さまにはご当選カードをお送りしますので、お買いあげ店にてカードと引き替えにプレゼントをお受けとりください。

〈送り先〉〒540-91 大阪東郵便局私書箱第459号
株式会社 **ゴーセン スポーツ用品部キャンペーン係**



●くわしくは、ゴーセンスポーツ用品部、お近くのキャンペーン参加スポーツ店にお問合わせください。

ラケットスポーツで世界をむすぶ

GOSEN

本　　社 ● 〒540 大阪市東区豊後町4 ☎(06)942-5816㈹
東京支店 ● 〒111 東京都台東区蔵前4-14-2 ☎(03)862-6576㈹
福岡営業所 ● 〒810 福岡市中央区薬院1-4-8 ☎(092)712-5247㈹
北陸営業所 ● 〒921 石川県金沢市横川7-22 ☎(0762)47-0200㈹

RB-707
GRABON 707
100%カーボングラファイト
ジョイントレス ¥9,800

PRO KENNEX
プロケネックス

8/31まで モニター

300名さまに 募集中!

①～③に正しいローマ字をのキイ・ワードができあがりまの応募ハガキまたは官製ハ名、郵便番号、住所、氏名、クラブ名、プレイ経験年数、店名、住所を明記のうえ、どう

1字ずつあてはめると、5文字すCキャンペーン参加店店頭ガキに、キイ・ワード、ラケット年令、職業(学校名)、所属日頃ご利用のスポーツ用品ぞふるってご応募ください。

〈問題〉

1. ゴーセンのハイ・シープは　今やOUTの代名詞です。
2. ゴーセンのウインテックス・　ウエアはSPORT WEAR のベーシック・カラー「あざやかな白」が基調です。
3. ゴーセンのインターナショナル・ブランドといえば PROKENNEX RACKOTです。

〈ヒント〉ゴーセンは皆さまにすぐれたGUT、SPORT WEAR、RACKETをおとどけするラケットスポーツの総合メーカーです。

〈キイ・ワード〉

① ② S ③ N

〈抽せん・発表〉毎月末に厳正な抽せんを行います。ご当選者には当選カードをお送りしますので、ご明記のスポーツ用品店にてカードと引き替えにモニターラケットをお受けとりください。

〈送り先〉〒540-91 大阪東郵便局私書箱 第459号
株式会社 **ゴーセン スポーツ用品部モニター・キャンペーン係**

ずらり、4店勢揃い。

渋谷店

760㎡(230坪)の広々とした店内でゆったりショッピング。

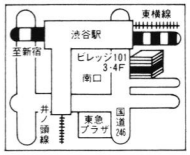


バドミントンコーナー



毎月曜日定休

東京都渋谷区桜ヶ丘町1-7(ヒレッジ101ビル3-4階) TEL03-464-9251〜2〒150
●営業時間/午前10時〜午後7時30分
●日曜・祭日は午後7時まで

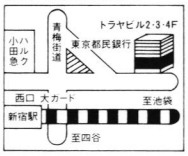


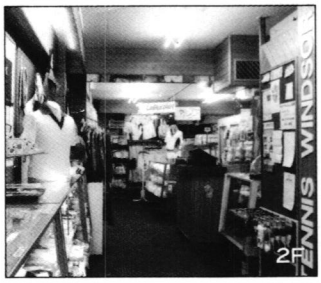
新宿店

落ち着いた雰囲気でお買いもの。各階それぞれの楽しさがいっぱい。

毎月曜日定休

東京都新宿区西新宿7-10-20(トラヤビル2・3・4階) TEL03-363-6848〒160
●営業時間/午前10時〜午後7時30分
●日曜・祭日は午後7時まで







バドミントン・フロア

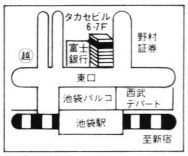


池袋店

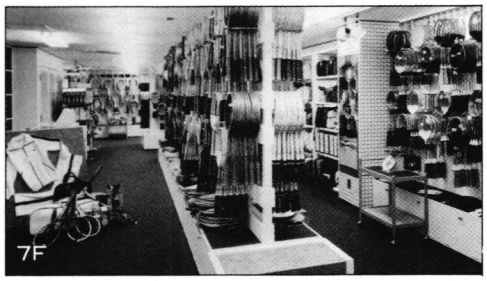
つぶ揃いのテニス、バドミントン用品が店内にあふれんばかり。

毎月曜日定休

東京都豊島区東池袋1-1-4(タカセビル6-7階) TEL03-989-0401〒170
●営業時間/午前10時〜午後7時30分
●日曜・祭日は午後7時まで



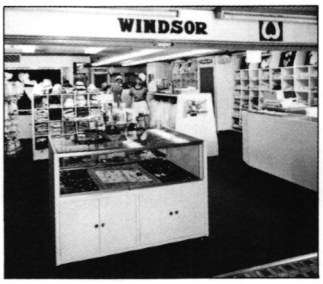




横浜店

ラケット、ウェア、シューズ……すべてに豊富な品揃え。選びやすい各コーナー。



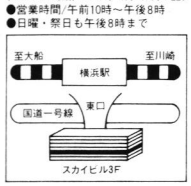


男性ウェア・コーナー



年中無休

横浜市西区高島町2-1 横浜駅東口(スカイビル3階)TEL045-453-1785〒220
●営業時間/午前10時〜午後8時
●日曜・祭日も午後8時まで



日本最大のテニス・バド専門店
WINDSOR RACKET SHOP

WINDSOR ウインザー ラケットショップ。



ドン。

3-10〈カーボ・テン〉。

結果、安定性・方向性・弾性をぐっとグレードアップさせ、ストロークにしぶとさを吹き込みました。そのうえ、カーボンシャフトの威力をいかんなく引き出し、強く鋭いショットを実現。さあ、あなたのプレイがまた変わるぞ。

YONEX®

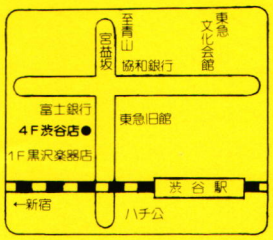


新発売

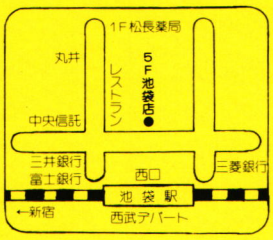
Carbonex10

セピア CARBON INTEGRATED FRAME & FULL CARBON SHAFT ダーククリーン

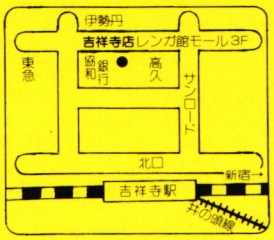
ウヌッ！ついにここまで来たか。と噂しきりのラケット登場です。今やラケットならカーボン。カーボンならヨネックスといわれるなかでまたまた進歩。フレームにカーボンと超硬アルミ合金の複合化を成功させてしまったのです。



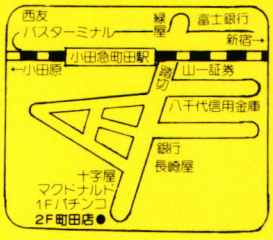
●渋谷店
バドミントン・プロショップ
☎03-400-7390



●池袋店
バドミントン・プロショップ
☎03-988-0215



●吉祥寺店
バドミントン・プロショップ
☎0422-21-7890

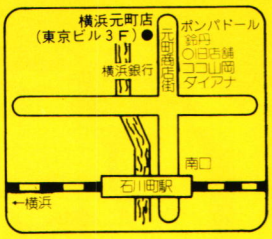


●町田店
バドミントン・プロショップ
☎0427-28-6050

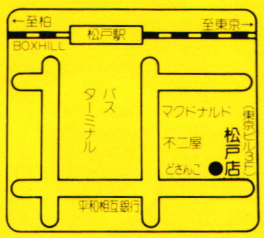
ボクも狙うぞ 全国制覇！

ラケットショップ元町®

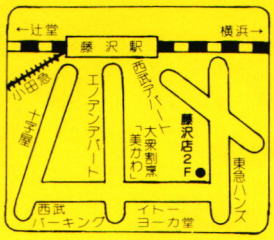
ラケットショップ元町®



●横浜店
テニス・バドミントン
☎045-441-6651
☎045-662-1792
☎045-662-1803
☎045-221-5237



●松戸店
バドミントン・プロショップ
☎0473-64-6564



●藤沢店
テニス・バドミントン
☎0466-26-2552

七番目の"松戸店"オープン
ズラリ揃った"七人の侍"
"エイトマン"出現の地は？



®



高校時代からのペアは息ぴったり。もう一息の意欲が法大躍進のカギが、丹藤・楠美組

昨年のインカレ２位の実績をひっ下げての登場だったが、スランプに悩む六川・見城組(日大)

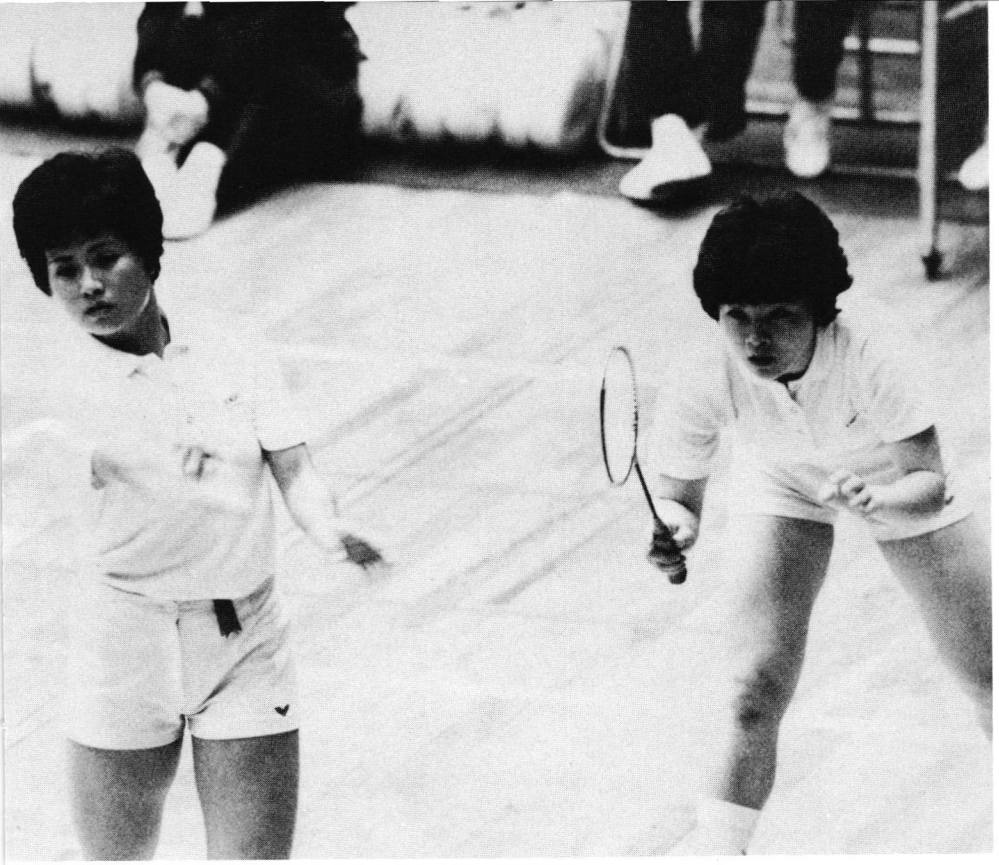




落ち着いたラケットさばきで日体大優勝
のリーダーシップをとった田村・高鴨組

やや元気のなかった川島・土田組(東女体
大)、ポイントゲッターの資格十分だが…





名門・日女体大を支える小野・高峯組だ
が決め手に欠け苦しい戦いの連続だった

日女体大をあと一歩のところまで追い
込んだ立役者、北山・広川組(青学大)



ガッツ&フェアープレー賞
宮本と田村が受賞
関東大学春季リーグ戦

狙っていた
宮本幸弘（中大4年）



開口一番「実は、狙っていたんですよ」と嬉しさを隠し切れない笑顔を見せた。

「去年も、獲れるかと思ったんですけど、上原さんの方が貢献度が高いし諦らめましたが、今回は日体戦でいい働きができたので、もしかしたらもらえるかも知れないと思っていた」んだそうだ。

単複全勝が認められたのはもちろんだが、あまり元気のない西山に代って、最上級生としてのリードオフマンぶりが買われたのだ。

単にただ勝つのではなく「最近は学生の覇気がないように思う。僕より素質のある選手はゴロゴロしているのに、勝つ意識があるのかないのか分らないような試合をしている。僕にとっては反面ありがたいですが…。

決め球も決めない、拾える球も粘らない選手が多いので活気が生まれてこないのだと思う。

今年の1年生はやりそうですが、僕も絶対負けませんよ、意地がありますからね。



プレーに自信
田村圭香（日体大3年）

優勝したことにもあまり感激はなさそう。

それはそうかも知れない。

ここ数年、日体大の優勝は戦前から不動のものといわれ、事実その通りになってきた。

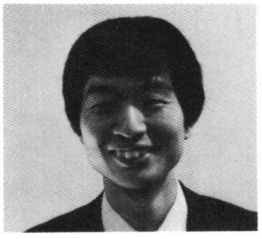
その中にあって、エース的活躍をしたわけだが「1ゲーム終わると相手の球筋が読めたし、苦しい試合はありませんでした。日本リーグに出られたことがプラスになったようです」と、話しぶりにも自信がうかがえる。

体は小さいが、サウスポーから繰り出されるストロークには、観衆が「強いなあー」とうなる重さがあった。

受賞に対してもただ「ウレシイ」とひと言、かすかに恥じらいを見せて感覚を語ったが、ときどき目がキラッと光るのは、やはりファイターらしさであろうか。

〝山椒は小粒でもピリットからい〟持ち味を発揮すれば、秋には〝打倒四条畷〟の旗手としての活躍が見られることだろう。

テクニックを盗め



ダブルス講座　飯野佳孝

ロビング

シャトルがサイドラインを割らないように、かぶせて打つようにすること

今月は〝ロビングであるが、そもそもバドミントンにはこの〝ロビング〟という呼称は使われていなかった。

しかし、ネット前の〝ハネ上げ〟を、ハイクリアーまたはクリアーと呼んでいたのでは紛らわしく、あえてテニスで使われている〝ロビング〟を適用してみたいと思う。

ロビングには、大きく分けてふた通りある。

バックパウンダリーラインまで、高く深く返球するものと、おっつけ気味に相手の頭上を低く越えるものである。

前者は、じっくりと構える時間をかせぎ、相手のリターンに集中するためのもの。

後者は、あわよくば相手の虚を突いて自分達が攻撃に回ろうとするものであるが、これはシングルスでは有効なストロークとなるが、ダブルスでは危険性が大きく、下手をすると構えていないうちに相手のリターンを受ける結果になることが多い。

ダブルスでは、プッシュとロビングの中間の低いロビングは絶対に避けるべきだ。

さて、打ち方であるが、フォアハンド、バックハンドとも、**シャトルをコート外へ逃さないよう、かぶせるように打つことだ。**

つまり、フォアハンドは手の甲が上にかぶさるように、ラケットの打球面を外側からかぶせるように打つこと。

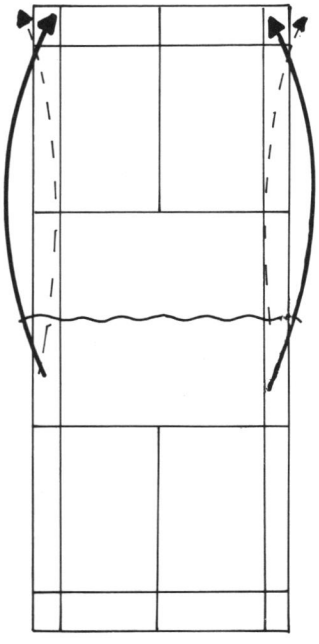
バックハンドは、手の甲が下になるように、ラケットの打球面を外側からかぶせるように打つこと。

これがキーポイント。

なぜかというと、ロビングはサイドライン際を狙うことが多いのだから、当然サイドアウトも多くなってくる。

これを防ぐには、サイドラインの内側へ入れる打ち方をしなければならないからだ。

サイドを割らないロビングの



三原則の〝より高く、より速く、より前で〟にこだわる必要はない

打ち方の基本である。

そして、フォロースルーはフォア、バックにかかわらず大きく振り抜くようにする。

ロビングは、簡単なように見えて、実は意外とミスの多いストローク。

それは、ストローク自体はそれほど難かしいものではないのだが、無理な体勢の場合、シャトルの変化に対応できていない場合など、情況に応じ切れないでミスを犯してしまうことが多い。

これらの多くの原因は、体勢が不安定なまま打っているのだ。**足を、一瞬（0・01秒）でも早く着地してから打たなくてはいけない。**

建物の基礎がしっかりしていないと、建造物がもろいのと同じで、土足となる足元がしっかりしていないと、上体が不安定になってストロークが一定しないのは自明の理。

また、前述したように、ダブルスのロビングで高く上げる場合は〝**より高く、より速く、より前で**〟**という三原則にこだわる必要はない。**

まして、最近はスピンをかけるブレーヤーも多く、高い位置でシャトルをとらえればいいというもほではないのだから、あわてずに自分の体勢を整えてから落ち着いて上げることが肝心だ。

ロビングを上げる方向としては、経験上6対4または7対3でストレートスマッシュの確率が高いので、**味方ペアのレシーブの良い方、自信のある方へ上げることが好ましい。**

上げたからといって、高く深いロビングさえできていれば、決して万事休すわけではないのだから、次のリターンで勝負する気構えが必要である。



チャンピオンをめざせ！



銭谷欽治

ホームポジションは常に真ん中ではない

今回は、ストロークの解説は一休みして〝ホームポジションと構え〟について書いてみたい。読者のみなさんの中には、ホームポジションはコート中央の一箇所だけ、と思い込んでいる人が多いと思う。

それは確かに誤りではない、その通りである。

しかし、それは理想、あくまで理想であって、現実には百パーセント、コート中央に戻ることは不可能といえるし、またたとえ戻れたにしても、百パーセント戻ることが百パーセント有利な試合展開になるとは限らないのだ。

〝ホームポジション〟を実戦に即して定義すると**「コートより中央に近いことが理想だが、常に相手がインパクトする瞬間に自分のいる位置」**が厳密な意味でのホームポジションだといえる。

これを実際には、相手がシャトルを打つ瞬間であっても、まだ身体も意識もコート中央に戻ろうとしていることが多く見られる。

ホームポジションとは、コート中央であって、そこにかならず戻らなければならない、という観念を植えつけられてしまっているからだ。

早く、この固定観念を拭い去らなければならない。

ホームポジションは、一球ごとに微妙に移動しているものなのだ。

もちろん、コート中央へ戻る必要はないといっているのではない。

いわゆる探り合いというか、クリアーとカットの応酬の場合などは、キッチリ中央へ戻ることが望ましい。

また、**練習ではコート中央へ戻ろうとする努力が、成長するための一番の〝コヤシ〟**なのだから誤解してはいけない。

とくに基本練習でこれを怠っては、何のための基本練習か意味がなくなってしまう。

練習と実践の〝ホームポジション〟の意味を、良く理解しておかなければならない。

もう少し詳しく説明すると、練習ではホームポジションをコートの中央に置き、常にそこへ戻るよう速く動くことを心掛け、ゲームではその通り実行できない場合があることを承知しておく柔軟性が大切だということ。

サイドラインの奥深くから、思い切りスマッシュを打った場合や、相手の速い攻撃を受けてネットへしかリターンできなかった場合などは、相手が打つ瞬間、自分がコート中央へ戻ることなど不可能。

かえって、一生懸命に戻ろうとする努力が裏目に出て、相手のフェイントにはまることになる。

あの〝世界一俊敏な男〟リム・スイ・キンでさえ、速攻を仕掛けた際に、次の動作がコート中央から始まっていないことに気づくのである。

これをもう少し深く考えてみると、ひとつの練習法を見つけ

より理解するためには、教えられたことに疑問を持つことも

ることができる。

前述の練習の心構えと矛盾するようだが、ホームポジションをA、あるときはB、C、Dと置いて練習するのである。

このホームポジションで、苦しいコースのストロークを克服できるようになればしめたもの。

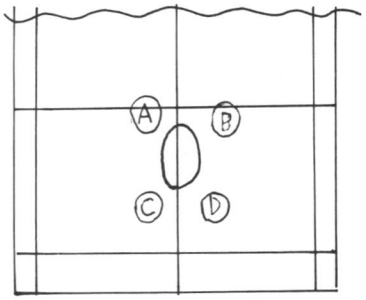
実戦でのとっさの局面に対処できる能力が、知らず知らずに培われると思う。

余談になるが、先代の横綱・若乃花は、どんな窮地に追い込まれても逆転できるようにと、ケイコで若い衆に後から組みつかせたという。

取りこぼしを一つでも少なくしようという〝土俵の鬼・若乃花〟ならではの迫力あるエピソードではないか。

土俵では**何が起こるか分らない**という、あらゆる想定に基づいた、古くて新しい練習法だ。





コートでは、中央に戻れないことがあるなら、ホームポジションをあらゆる位置に動かしてみるのも、ある面では合理性かも知れない。

鉄則として教えられた〝コート真ん中のボームポジションへ戻れ〟ということも、確かに一理はあるが、**盲信しないで疑問があったら、もう一度考え直してみる必要がある。**

中大(男子)が連続王座 日体大(女子)は独走!!

久びさに男子に活気

4月29日から5月7日にわたって、昭和56年度関東学生バドミントン春季リーグ戦が東京・板橋区体育館で開催されました。

毎年、新入生の加入で活気をみせる春季リーグ戦は、今年も有望な新人の活躍によって例年を上回る盛り上がりをみせました。

とりわけ男子では、優勝を狙う日体大、法大が、オーダーのトップに新人を起用するなど、若い力を前面に押し立ててムードをあおるなど、シーズン到来を告げるにふさわしい盛況ぶり。

しかし、女子は日体大独走の感が強く、肉迫すべき東女体大、日女体大の復調が待たれるところとなりました。



すっかり大学になじんだ井上

まず、注目の新人、山本(法大)、井上、大島(日体大)の成績を紹介すると——。

山本…単3勝1敗、複1勝0敗。

井上…単3勝1敗、複4勝0敗(パートナー大島)。

大島…単2勝2敗。

と、いずれ劣らぬ好成績を残こし、昨年〝高校のビッグ3〟といわれた面目躍如とした感があった。

しかも、オーダーは各校の主力が起用されるトップ、セカンドシングルスであったことが、その価値をより一層ひきたたせるものであった。

ちなみにこの三人の、特筆すべき対戦のスコアを示してみる

男子1部リーグ戦勝敗表

大学名	中　大	日体大	法　大	日　大	早　大	大東大	順　位
中　大		○ 4－0	○ 5－2	○ 6－1	○ 6－1	○ 7－0	1
日体大	× 0－4		○ 6－1	○ 6－1	○ 6－1	○ 6－1	2
法　大	× 2－5	× 1－6		○ 4－1	○ 6－1	○ 7－0	3
日　大	× 1－6	× 1－6	× 0－4		○ 4－3	○ 6－1	4
早　大	× 1－6	× 1－6	× 1－6	× 3－4		○ 4－0	5
大東大	× 0－7	× 1－6	× 0－7	× 1－6	○ 0－4		6

女子1部リーグ戦勝敗表

大学名	日体大	東女体	日女体	青学大	筑　大	大妻大	順　位
日体大		○ 4－1	○ 3－0	○ 5－0	○ 5－0	○ 5－0	1
東女体	× 1－4		○ 4－1	○ 3－1	○ 3－2	○ 5－0	2
日女体	× 0－3	× 1－4		○ 3－2	○ 4－1	○ 5－0	3
青学大	× 0－5	× 1－3	× 2－3		○ 3－2	○ 5－0	4
筑　大	× 0－5	× 2－3	× 1－4	× 2－3		○ 3－1	5
大妻大	× 0－5	× 0－5	× 0－5	× 0－5	× 3－1		6

日体大

と――。

山本 1 (8－15 15－13 12－15) 2 西山○

○山本 古賀 2 (15－3 15－15 15－7 15－10) 1 西山 小西

井上 1 (12－15 10－15 15－13) 2 西山○

○井上 大島 2 (17－16 18－16) 0 本石 久郷

と、それぞれ学生界を代表する西山や、久郷・本石組と互角の試合を展開したのだから立派といわざるをえない。

しかし、本人の名誉のためにひと言つけ加えるならば、西山も病み上がり、久郷も故障で練習らしい練習はしていなかったことを忘れてはならない。

それでも、新人としてこれだけの成績が残こせるということは、やはり大物には違いないところであろうか。

だが、一番肝心なところは、この大物三人の将来も楽しみであるが、それより明かるい展望として、この新入達の加入により、今までやや沈滞ムードだった男子学生界の格好の刺激剤になりうるということだ。

西山をはじめとして、男子学生界にも好素質の選手は数多いにもかかわらず、ここ数年のレベル低下に見られるように日本バドミントン界にあって陽の当たらぬ存在になっていた。

それがここに来て、宮本、久郷、吉村、須貝、坂井、丹藤、楠美らの頑張りによって中堅プレーヤーの実力が向上してきた矢先である。

秋には、中堅選手の踏ん張りによって、再び学生界に春が訪れる可能性が生まれてきた。

質・量ともに、一気に飛躍するチャンスが到来したのだ。

下級生は上級生に〝追いつき追い越せ〟、上級生は下級生に〝死んでも負けるな〟、といいたい。

不調ではあっても、西山は全勝した。

日体大・関根監督は「西山のいる間に打倒中大を果たして優勝」をと意気込んでいる。

西山・宮本の二枚看板で王座を守った中大だったが、秋にはもっと引き離す勢いを見せて欲しい。

そして、それを打ち破る若い力の台頭にも期待したい。

それが噛み合い、切磋琢磨してこそ初めて待望久しい〝学生界の春〟が訪れるのである。

全英オープン

〈国名表示〉A＝オーストラリア、B＝ベルギー、C＝カナダ、D＝デンマーク、E＝イギリス、G＝ドイツ、H＝オランダ、I＝インド、IN＝インドネシア、K＝韓国、M＝マレーシア、N＝ノルウェー、NZ＝ニュージーランド、S＝スウェーデン、SC＝スコットランド、SW＝スイス、T＝タイ、UR＝ソビエト、W＝ウェールズ

▽男子シングルス1回戦

銭　谷　2　15 15　0　辻
長谷川　2　15 15 4　8 15 0　ノルガード（D）
土　田　2　15 15 2　3 15 0　ロブソン（NZ）
銭　谷　2　15 15 3　11 15 0　クルニアウ（IN）
スコット（E）　2　15 5 15 12　1　飯　野
スギアルト（IN）　2　15 10 15 10　1　長谷川
Mシィイク（M）　2　15 15 13　8 15 0　土　田

▽同2回戦

長谷川　2　15 15 4　8 15 0　ノルガード（D）
土　田　2　15 15 2　3 15 0　ロブソン（NZ）
銭　谷　2　15 15 3　11 15 0　クルニアウ（IN）
スコット（E）　2　15 5 15 12　1　飯　野
スギアルト（IN）　2　15 10 15 10　1　長谷川
Mシィイク（M）　2　15 15 13　8 15 0　土　田

▽同3回戦

リム・スイ・キン（IN）　2　15 15 7 10　0　モディ（I）
ジョリー（E）　2　15 15 6 12　0　銭　谷
ハンセン（D）　2　15 15 3 5　0　スコット（E）
ハディヤント（IN）　2　15 15 9 5　0　ヘルショルト（D）
プラカシュ（I）　2　15 15 10 6　0　スギアルト
ポンゴ（IN）　2　15 15 7 4　0　ウドム（T）
ダニー（IN）　2　15 15 7 9 5 15　1　ラーセン（D）
ハルトノ（IN）　2　15 15 11 4　0　Mシィディク

▽同準々決勝

リム・スイ・キン　2　15 15 9 2　0　ジョリー
ハンセン　2　15 15 4 8　0　ハディヤント
プラカシュ　2　15 15 7 8　0　ポンゴ
ハルトノ　2　15 15 2 11　0　ダニー

▽同準決勝

リム・スイ・キン　2　15 15 5 8 15　1　ハンセン
プラカシュ　2　15 15 8 7 15　1　ハルトノ

▽同決勝

リム・スイ・キン　2　15 15 5 4 15　1　プラカシュ

▽女子シングルス1回戦

徳　田　2　11 12 3 9　0　ハミルトン（Sc）
東海林　2　11 11 2 3　0　ビューセコム（H）
米　倉　2　11 11 2 3　0　姜　幸淑（K）
コーペン（D）　2　11 11 10 3 9 12　1　近　藤
陣　内　2　11 11 3 9　0　ーガン（IN）
金　練子（K）　2　12 11 10 6　0　徳　田
ベラワティ（IN）　2　11 11 2 2　0　東海林
米　倉　2　11 11 6 1　0　キジャー（D）

▽同2回戦

コーペン（D）　2　11 11 10 3 9 12　1　近　藤
陣　内　2　11 11 3 9　0　ーガン（IN）
金　練子（K）　2　12 11 10 6　0　徳　田
ベラワティ（IN）　2　11 11 2 2　0　東海林
米　倉　2　11 11 6 1　0　キジャー（D）

▽同準々決勝

コーペン　2　11 11 2 1　0　ブリッジ
ベラワティ　2　11 6 11 7　1　金　練子
イバナ　2　11 12 7 11　0　米　倉
黄　善愛　2　12 11 10 6　0　ウェブスター

▽同準決勝

コーペン　2　11 10 11 9 12 8　1　ベラワティ
黄　善愛　2　11 11 5 0 7 11　1　イバナ

▽同決勝

黄　善愛　2　11 11 2 1　0　コーペン

▽男子ダブルス1回戦

長谷川　辻　2　15 18 15 12　4 15 1　カールセン（D）　ラーセン、ウドム、
飯　野　土　田　2　15 15 6 6　0　アクラポーン（T）
デュー、ロフ（E）　2　15 15 6 10　0　長谷川　辻
ハディボー、エルタント　2　15 15 11 10　0　飯　野　土　田
クリスチャン、チャン、チャンドラ（IN）　2　17 15 14 6 7 15　スコット　グッド、（E）
スチーブンス、トレジェッ　2　15 15 2 2　0　ロブソン（NZ）　マクドナルド（A）、

ヨーロッパ・トーナメント・ツアー全記録

デンマーク・オープン

▽男子シングルス1回戦

土田 2 15 5 17 15 — 7 15 15 1 15 スベニンセン(D)

銭谷 2 15 15 0 — 5 0 0 シモン

ケルドセン(D) 2 15 15 0 — 3 0 0 大島

長谷川 2 15 15 0 — 2 4 0 山本

飯野 2 15 15 10 15 — 4 7 15 1 スナトミスラ(I)

ラーセン(D) 2 15 15 2 — 6 2 0 辻

▽同2回戦

スチーブンス(E) 2 15 15 5 — 5 0 土田

ケルドセン 2 18 15 7 — 14 7 0 銭谷

ジョンソン(S) 2 15 15 1 — 5 1 0 長谷川

フラッド ベルグ(D) 2 15 15 1 — 13 1 0 飯野

▽同準々決勝

カルトノ、ハリアン 2 15 15 5 — 9 0 Jシィディク、Rシィディ

スチーブンス、トレジェット 2 18 15 12 — 13 0 ヤンドラレジェット

チュンチュン、ワジュディ 2 15 15 8 — 3 0 エンプタッジ、コー(E)

デルフス、Mシィディク、ブーン(M) 2 15 15 8 — 7 0 スコブガード(D)

レオング、カールソン(S) 2 15 15 3 — 1 0 サルバラジ(M)

ハディボン、エルタント 2 15 9 15 8 — 9 15 1 ー、エル

デュー、ロフ 2 15 15 9 — 13 0

フラッド ベルグ、ハンマーガード(D) 2 15 15 11 — 8 0

▽同準々決勝

カルトノ、ハリアン 2 15 15 5 — 9 0 Jシィディク、Rシィディ

スチーブンス、トレジェット 2 18 15 12 — 13 0 ヤンドラレジェット

チュンチュン、ワジュディ 2 15 15 8 — 3 0 エンプタッジ、コー(E)

デルフス、Mシィディク、ブーン(M) 2 15 15 8 — 7 0 スコブガード(D)

レオング、カールソン(S) 2 15 15 3 — 1 0 サルバラジ(M)

ハディボン、エルタント 2 15 9 15 8 — 9 15 1 ー、エル

デュー、ロフ 2 15 15 9 — 13 9 0

フラッド ベルグ、ハンマーガード(D) 2 15 15 11 — 8 0

▽同準決勝

ギルクス、キルビン 2 18 15 17 18 — 16 12 15 1 徳田

ペリー、ウェブス 2 15 15 — 0 5 0 金練子

ウェブス 2 15 15 — 4 8 0 ギルクス、キルビン

ペリー、ウェブスター 2 15 15 — 3 0 0 近藤

▽同準々決勝

チャップマン、リードビタ 2 15 15 — 10 7 0 東海林

近藤 高田 2 15 15 — 10 7 0 大塚

徳田 米倉 2 15 15 — 3 7 0 ダマヤンティ、テレシア

ギルクス、キルビン 2 15 15 — 5 6 0 Mリーブス、Sリーブストン(E)

金練子 柳尚希 2 18 15 12 — 14 6 15 1 チャップマン、リードビタ(E)

ペリー、ウェブスター(E) 2 15 15 — 3 0 0 近藤 高田

▽同準決勝

ギルクス、キルビン 2 18 15 17 18 — 16 12 15 1 徳田 米倉

ペリー、ウェブス 2 15 15 — 0 5 0 金練子 柳尚希

ウェブス 2 15 15 — 4 8 0 ギルクス、キルビントン

ペリー、ウェブスター 2 15 15 — 3 0 0 近藤 高田

▽混合ダブルス準々決勝

クリスチャン、イメルダ(IN) 2 22 15 — 3 11 0 Aスコブガード、Sスコブガード(D)

キルストローム、(S)ギルクス(E) 2 15 15 — 3 5 0 Pサットン(W)、ウェブスター(E)

▽同決勝

トレジェット、ペリー 2 15 14 15 — 10 18 1 クリスチャン、イメルダ

フラッド ベルグ、ニールセン(D) 2 15 15 — 13 12 0 ギリーラン(Sc)、チャップマン(E)

トレジェット、ペリー(E) 2 15 15 — 2 2 0 スコット、ブリッジ

▽同準決勝

クリスチャン、イメルダ 2 15 15 — 9 9 0 キルストローム、ギルクス

トレジェット、ペリー 2 15 15 — 7 3 0 ベルグ、ニールセン

▽同決勝

トレジェット、ペリー 2 15 14 15 — 10 18 1 クリスチャン、イメルダ

▽女子ダブルス1回戦

カルトノ、ハリアン 2 15 15 — 8 9 0 チュンチュン、ワジュディ

徳田 米倉 2 17 15 — 14 0 トン ハミルトン、フル(Sc)

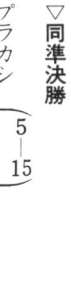
東海林 大塚 2 15 15 — 10 2 0 ブリング(E) クーパー、トーク、

近藤 高田 2 15 15 — 11 8 0 ウェトナル(E)

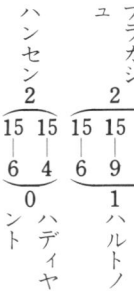
▽同2回戦

徳田 米倉 2 15 15 — 13 6 0 黄善愛 姜幸淑(K)

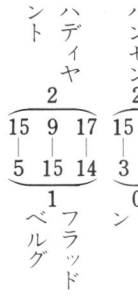
▽同3回戦



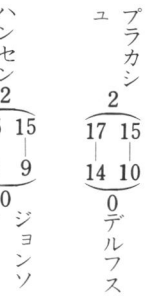
▽同準決勝



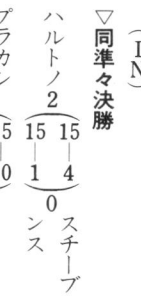
▽同準々決勝



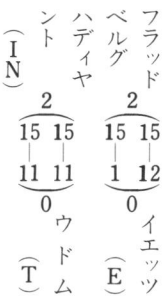
▽同準決勝



▽同準々決勝



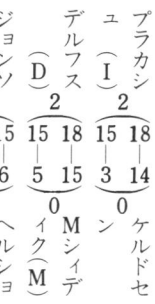
▽同決勝



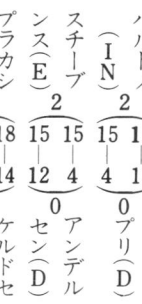
▽女子シングルス1回戦



▽同2回戦



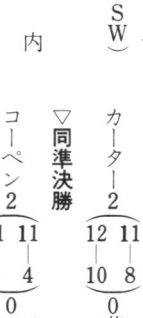
▽同3回戦



▽同決勝



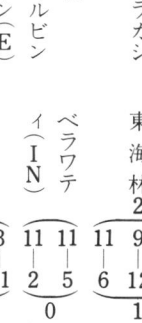
▽同準決勝



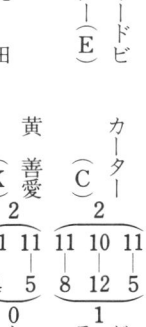
▽同準々決勝



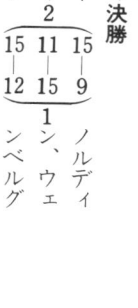
▽男子ダブルス1回戦



▽同2回戦



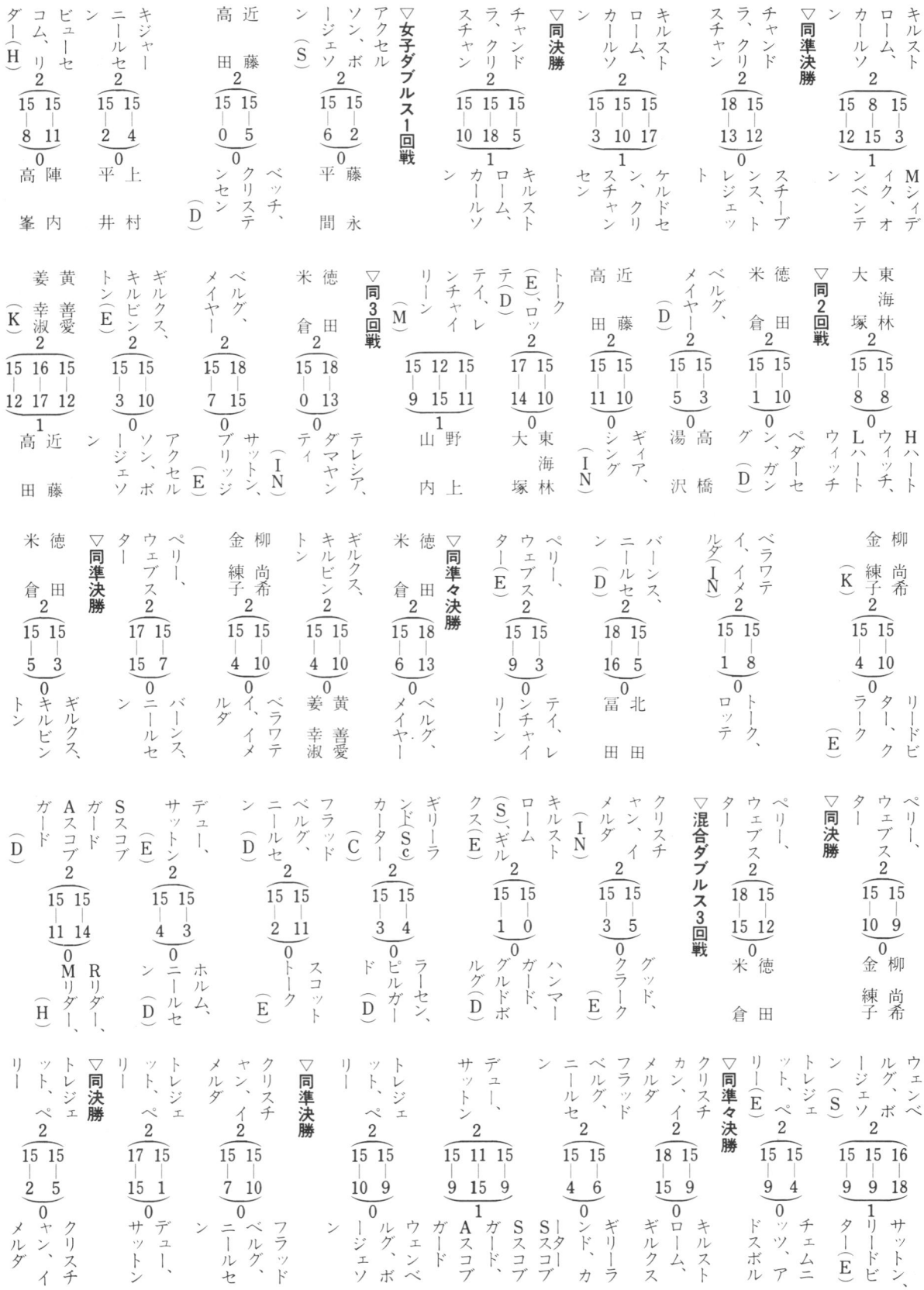
▽同3回戦



▽同準々決勝



ヨーロッパ・トーナメント・ツアー全記録



スウェーデン・オープン

▽男子シングルス1回戦

スバルヤー（D）2 15-15-4 15-5-15 1 長谷川 11
飯野 2 15-15-5 0 シュルツ（G）
銭谷 2 15-15-8 0 アクラポーン（T）
▽同2回戦
スチーブンス（E）2 15-15-5 11 0 土田
キジャー（D）2 15-14-18 15-8 1 飯野
グッド（E）2 15-15-6 15 1 グッド
銭谷 2 15-15-7 1-0 辻
▽同3回戦
ポンゴ（IN）2 15-15-8 4-0 ガングリ（I）
イエッツ（E）2 15-15-8 11-0 スバルヤ
スチーブンス 2 15-15-3 8-0 ウドムス（T）
デルフス（D）2 15-15-10 4-0 モディ（I）
ジョリー（E）2 15-15-8 4-0 ギジャー
キルストローム（S）2 15-15-4 6-11-15 1 グッド

銭谷 2 15-15-12 11-9-15 1 ノルディン（S）
ハンセン（D）2 15-15-7 1-0 ジョンソン（C）
▽同準々決勝
ポンゴ 2 15-15-7 0 イエッツ
スチーブンス 2 15-15-8 7-9-15 1 デルフス
ジョリー 2 15-15-3 8-0 キルストローム
ハンセン 2 15-15-4 2-0 銭谷
▽同準決勝
ポンゴ 2 15-15-8 14-6-15 1 スチーブンス
ハンセン 2 15-15-5 9-0 ジョリー
▽同決勝
ポンゴ 2 15-18-13 14-0 ハンセン
黄善愛（K）2 11-11-1 2-0 冨田
ギィア（I）2 11-11-6 2-7 11-1 東海林
▽女子シングルス1回戦

北田 2 11-11-2 11-2 0 ノビアンティ（IN）
高峯 2 12-11-10 3-0 アンダーソン（S）
ベントソン（S）2 11-11-4 5-0 高田
ビューセコム（H）2 11-11-4 1-3 11-1 1 近藤
柳尚希（K）2 11-11-2 9-0 陣内
▽同2回戦
北田 2 11-11-0 5-0 姜幸淑（K）
ラーセン（D）2 11-12-3 10-0 高峯
▽同準々決勝
黄善愛 2 11-11-5 3-0 リードビター（E）
北田 2 11-11-0 5-0 クラーク（E）
ラーセン 2 11-11-3 2-0 金練子（K）
イバナ（IN）2 11-11-8 1-0 ビューセコム
▽同準決勝
黄善愛 2 11-12-8 11-0 北田
イバナ 2 11-11-4 5-2 11-1 ラーセン

▽同決勝
黄善愛 2 11-11-8 2-0 イバナ
▽男子ダブルス1回戦
デュー、ロフ（E）2 15-15-1 2-0 長谷川 辻
▽同2回戦
飯野 土田 2 15-15-3 3-0 シュルツ Gカールエルタント、ハディイボー（G）（IN）
ヘイヤー、カルトノ、グッド、ハリアン 2 15-15-8 15-9-0 スコット（E）
エルタント、ハディイボー 2 15-15-6 6-11-15 1 飯野 土田
デルフス、スコブガード（D）2 15-15-11 8-0 デュー、ロフ
カールソン、キルストローム（S）2 15-15-10 7-0 デルフス、スコブガード
▽同準々決勝
エルタント、ハディイボー 2 15-15-17 10-14 15-9-1 ハリアント
カールソン、キルストローム 2 15-15-12 5-0 ジョリー、サットン（E）
▽同準決勝
エルタント、ハディイボー 2 15-15-6 15-11-0 スコブガード
カールソン、キルストローム 2 15-15-4 6-0 エルタント、ハディイボー

▽同決勝
カールソン、キルストローム 2 15-15-4 6-0 エルタント、ハディイボー
▽女子ダブルス2回戦
徳田 米倉 2 15-15-9 9-0 ギィア、シィング（I）
東海林 大塚 2 15-15-2 1-0 ルムソン、トーク（S）（E）
陣内 高峯 2 15-15-12 15-10 18-1 キジャー、ニールセン（D）
ラーソン、ルンド（S）2 キケン 0 近藤 高田
クラーク、サットン（E）2 15-15-4 4-0 北田 冨田
ペリー、リードビター（E）2 15-15-2 7-7 15-1 徳田 米倉
黄善愛 金練子（K）2 15-15-5 7-0 東海林 大塚
陣内 高峯 2 15-15-3 5-0 ラーソン、ルンド
柳尚希 姜幸淑（K）2 15-15-7 10-0 クラーク、サットン

▽同準々決勝
▽同準決勝

ヨーロッパ・トーナメント・ツアー全記録



オランダ・ジュニアオープン

▽混合ダブルス1回戦
ローズメイヤー、ホルツ、ショーン
2（15—15、0—0）0
井上、高峯
（H）

松野、陣内
2（15—2、15—5）0
フェルダー、ファン
（D）

▽同2回戦
リーブス、テイラー
2（15—4、15—11）0
井上、高峯
（E）

松野、陣内
2（15—8、15—11）0
リーブス、ウッド
（E）

▽同準々決勝
松野、陣内
2（15—10、15—1）0
カキエイ、ハンセン
（H）

松野、陣内
2（15—9、15—8）0
マッサム、ドブソン

▽同準決勝
松野、陣内
2（15—6、15—10）0
ハッテン、モゲンセン

陣内、高峯
2（15—6、15—7）0
Sリーブス、Mリーブス
（H）

陣内、高峯
2（15—1、10—15、15—14）1
カキエイ、クロエト
（H）

▽同決勝
松野、陣内
2（15—1、15—10）0
ハッテン、モゲンセン

陣内、高峯
2（15—9、17—15）0
Sリーブス、Mリーブス

陣内、高峯
2（15—2、0—15）0
オジェバ、シャッフ
（H）

▽同決勝
テイラー、ウッド
2（不明）
ドブソン、パーカー

▽男子ダブルス1回戦
ハンセン、シソッフ
2（不明）
井上、松野
（H）

▽同決勝
陣内
2（12—15、11—3、11—8）1
ハッテン
ス

▽男子シングルス1回戦
ショーン
フェルダー
2（不明）
井上
（G）

セベリン
2（不明）
松野
（B）

▽同決勝
バットラー
2（不明）
テイラー

▽女子シングルス1回戦
陣内
2（11—3、11—2）0
ラベンス
ベルグ
（H）

高峯
2（11—2、11—4）0
シモン
（G）

▽同2回戦
陣内
2（11—2、11—5）0
ポウルトン
（E）

高峯
2（11—8、11—5、11—1）1
ハーバービーク
（B）

▽同準々決勝
陣内
2（11—3、11—6）0
クロエト
（H）

ハッテンス
2（12—10、11—5、8—11、11—1）1
高峯
（D）

▽同準決勝
陣内
2（11—1、11—1）0
モゲンセン

ギリーランド（Sc）、ペリー
2（15—2、15—10）0
ヘイヤー（G）、ベントソン
（S）
（E）

ギリーランド、ペリー
2（18—14、15—4）0
デュー、クラークリー
（E）

▽同決勝
ギリーランド、ペリー
2（15—7、15—1）0
Eサットン、リードビター
（S）

デュー、クラーク
2（17—16、12—15、18—14）1
スチーブンス、Bサットン
（E）

▽同準決勝
ペリー、リードビター
2（15—4、15—10）0
黄善愛、金練子
（S）

陣内、高峯
2（15—8、15—10）0
柳尚希、姜幸淑
（E）

▽同決勝
ペリー、リードビター
2（15—6、15—6）0
陣内、高峯
（S）

▽混合ダブルス1回戦
Eサットン、リードビター
2（15—7、15—8）0
銭谷、ルンドルン
（E）

サットン、リードビター
2（15—4、15—11）1
ピーターソン、アンデルソン
（S）

デュー、クラーク
2（15—7、15—7）0
イエッツ、トーク
（E）

▽同準決勝
ペリー、リードビター
2（15—4、15—10）0
黄善愛、金練子
（S）

陣内、高峯
2（15—8、15—10）0
柳尚希、姜幸淑
（E）

▽同決勝
ペリー、リードビター
2（15—6、15—6）0
陣内、高峯
（S）

▽混合ダブルス1回戦
Eサットン、リードビター
2（15—7、15—8）0
銭谷、ルンドルン
（E）

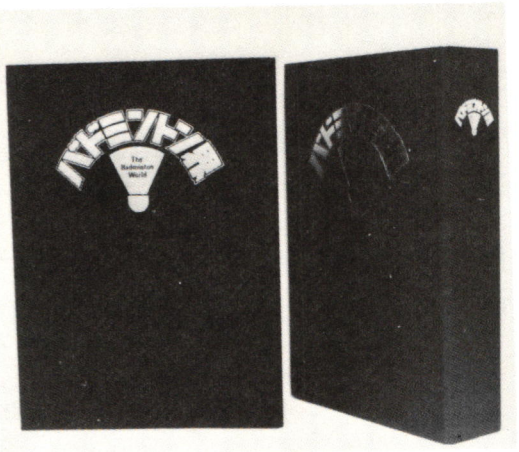
サットン、リードビター
2（15—4、15—11）1
ピーターソン、アンデルソン
（S）

デュー、クラーク
2（15—7、7—0）0
イエッツ、トーク
（E）

▽同準決勝
ペリー、リードビター
2（15—4、15—10）0
黄善愛、金練子
（S）

陣内、高峯
2（15—8、15—10）0
柳尚希、姜幸淑
（E）

▽同決勝
ペリー、リードビター
2（15—6、15—6）0
陣内、高峯
（S）



専用合本バインダーをご利用ください！

本誌は毎月発行ごとに保存しておけば，バドミントンの百科辞典となるものです。そのために本誌1年分12冊を，穴をあけたり，ノリを使ったりすることなく，かんたんに，しかも長い年月にわたって保存しておくことのできる“**専用合本バインダー**”をつくってまいりました。

しかし，用紙，レザーをはじめとする資材の値上りにより，このたび定価を**1冊700円**に改定させていただきます。まことに申し訳ありませんが，ご了承のほどお願いいたします。〔本誌綴じ込みの振替用紙には旧定価＝500円と印刷してありますが，**訂正のうえ**ご利用くださるようお願いいたします〕

〈バドミントン界専用合本バインダー〉
表紙＝黒色レザーにタイトル銀パク押し
金具＝特殊クリップ使用
送料＝1冊350円、3冊まで都23区400円第一地帯500円第二地帯650円第三地帯800円
お申込み方法＝1冊定価 700円に，送料を加えて，本誌巻末とじ込みの振替用紙に必要事項を明記のうえ，お近くの郵便局からお申し込みください。

バドミントン界　The Badminton World

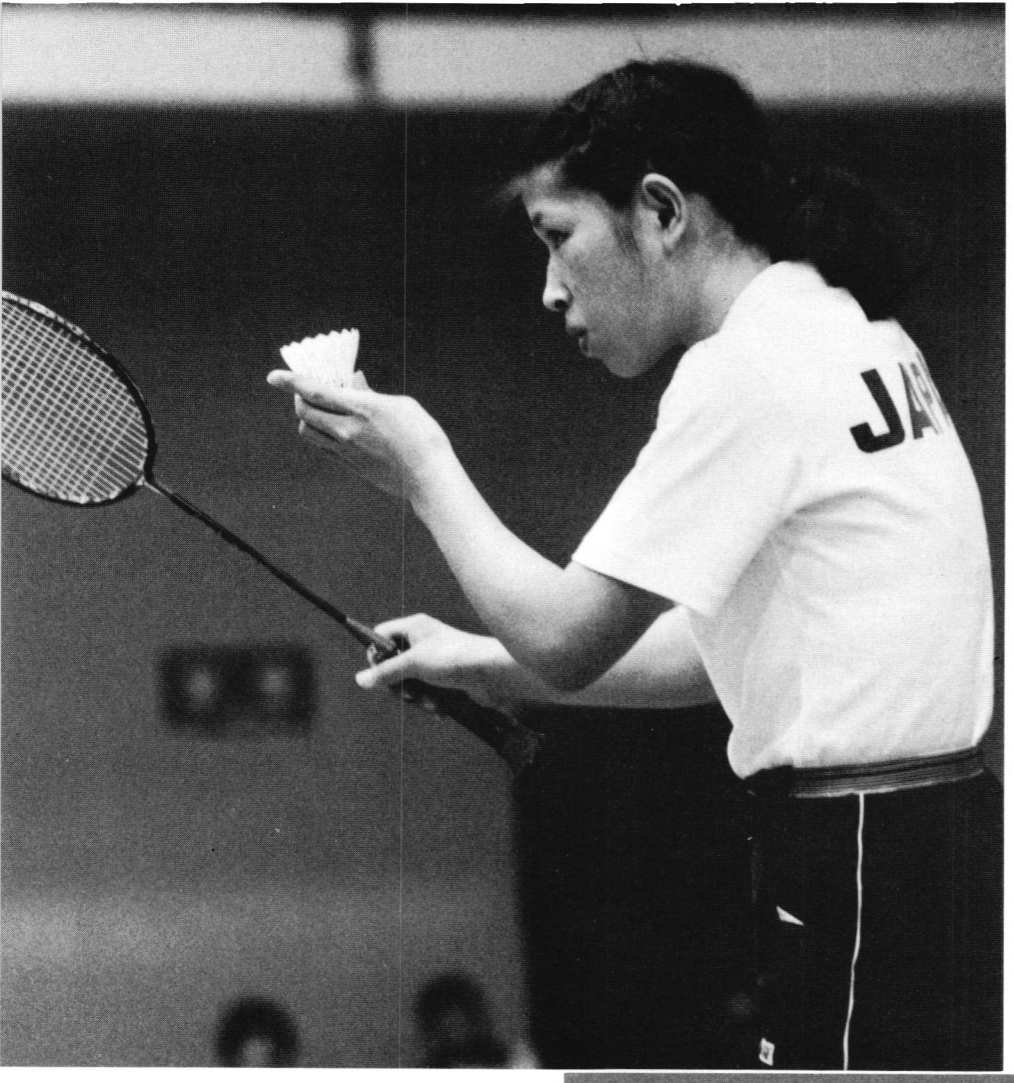
1981年5月号　©1981　通巻第139号

写真植字／サカキバラ写植，創研
印刷・製本／根岸印刷

◇本誌の記事・写真等を許可なく転載・複写することを禁じます

定価＝300円　1年間予約購読料＝3000円(送料共)
振替＝東京8－10737

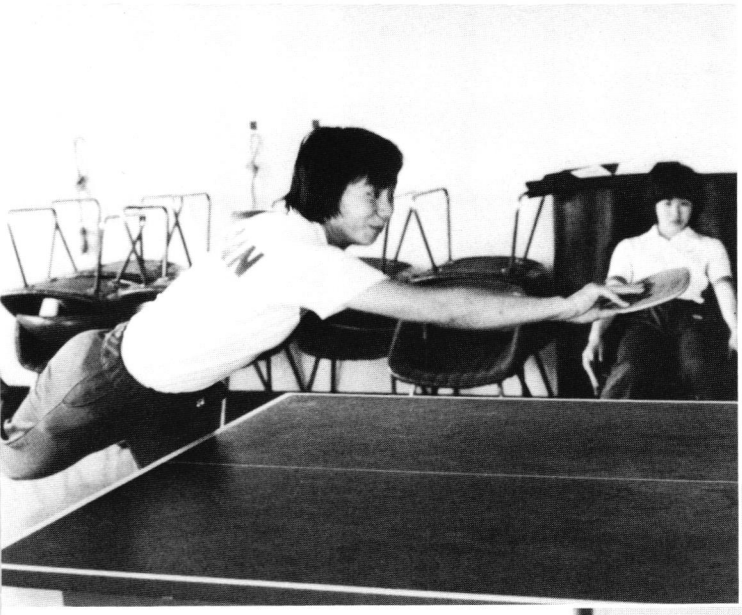
昭和56年5月15日発行
編集兼発行人／赤星三樹
発行所／赤星出版株式会社
東京都目黒区鷹番2－8－22－205　〒152
☎03－712－6952



単複に大車輪の活躍が期待される米倉



メキメキと力をつけた東海林、練習の虫だ



卓球に興じる陣内、
チームに明かるいムードを持ってきた



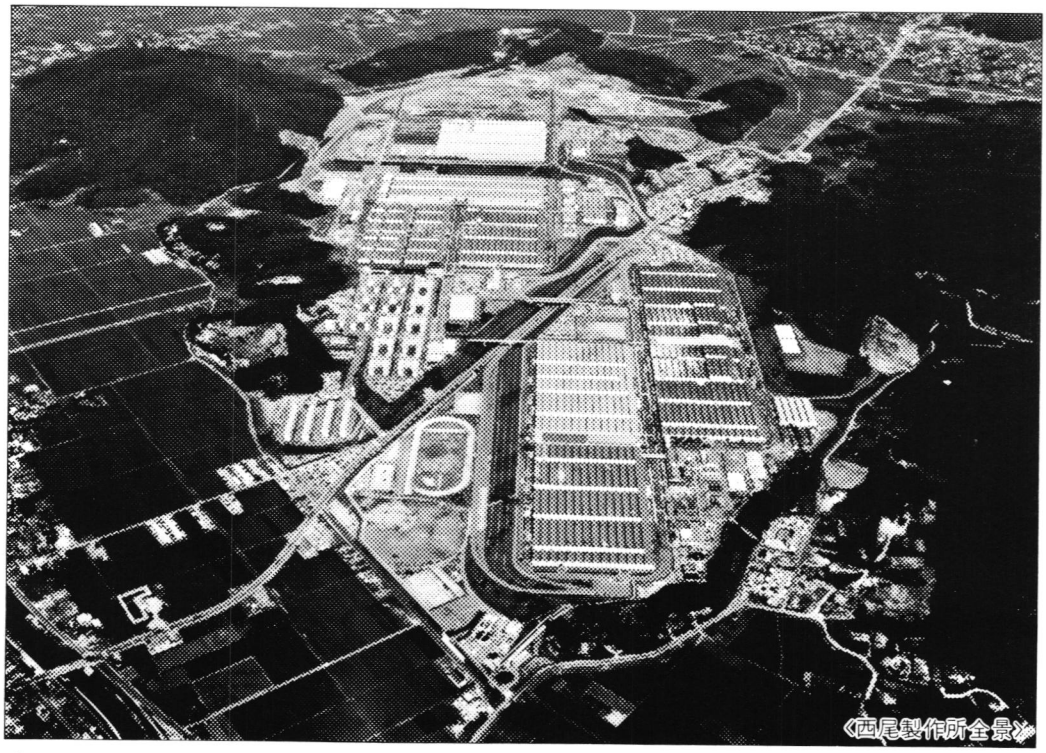
さっそうとしたバックハンド、
でもやはりバドミントンの方が良さそうな北田



審判をしながらも目は鋭く先輩のプレーを…高峯

自動車部品の総合メーカー

長年つみ重ねてきた、エレクトロニクスの技術を駆使して
自動車のエレクトロニクス化――――――
モートロニクスを進めるデンソー!!


《西尾製作所全景》

《営業品目》

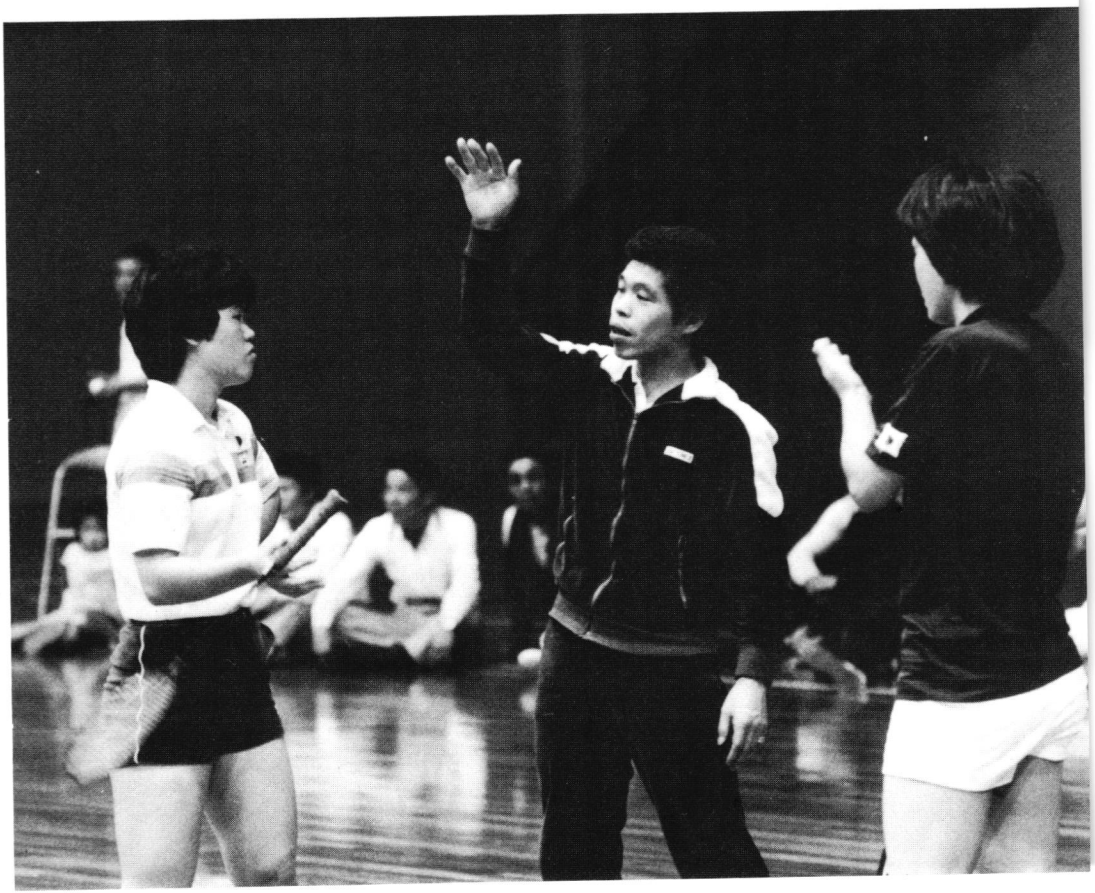
- ●スターター
- ●オルタネーター
- ●ダイナモ
- ●レギュレーター
- ●イグニッションコイル
- ●ディストリビューター
- ●マグネトー
- ●ホーン
- ●ワイパー
- ●ウインドウォッシャー
- ●各種電子制御装置
- ●排気ガス浄化装置
- ●カーエアコン
- ●カークーラー
- ●カーヒーター
- ●燃料噴射ポンプ
- ●各種メーター
- ●ラジエーター
- ●スパークプラグ
- ●フィルター

日本電装株式会社

本社／愛知県刈谷市昭和町1－1　（〒448）　TEL 刈谷(0566)22－3311



これだけの布陣はやはり世界一!!



池田コーチのアドバイスにうなずく高田(左)・近藤



DÉFI

イタリアからColor Liberation最新版の到着。

新鮮デフィ、新発売。

正統コットンホワイトのぼく。ところが、きょうのパートナーは、イタリアから新着のデフィのポロ。伝統の優れた機能性に、ファッショナブルなイタリアンフィーリングをコーディネイトしたNewデフィとは！ 鮮やかなイタリアンカラーが、ときにローマの華麗となって、ときにフィレンツェの繊細となって、コートを舞った。きみは、コートのウィナーになる前に、恋のウィナーになってしまうぞ。

kawasaki

カワサキラケット株式会社

カワサキラケット株式会社

しなやかなパワーが世界をうならせる。



バドミントンの女王
VERAWATI WIHARYO
ベラワティ・ウィハルジョ
1980年第2回世界選手権
女子シングルス優勝

独得のグラファイトシャフトは、復元力を限りなく高め、スピードの限界に挑むプレーに適確に応えます。シャフトが強化されて、しかも軽さを徹底的に追求。カラーも鮮やかなRed, Green, Yellowの3色。今、エイトファイブは日本を越えて世界のトッププレーヤーの期待に応えます。

素材：グラファイトシャフト/高力アルミ合金フレーム　カラー：レッド/グリーン/イエロー(ケース付)　フレーム価格：9,500円

B-85
エイトファイブ



新製品

Nice Day with Racket
KAWASAKI

本　社：〒130東京都墨田区両国1-10-6 TEL(03)633-7211(大代)
大阪支店：〒550大阪市西区阿波座1-10-6 TEL(06)533-0521(代表)